Canon

Macintosh用LIPSプリンタドライバ　オンラインマニュアル

ご使用前に必ず本書をお読みください。
将来いつでも使用できるように大切に保管してください。

JPN

本書の構成について

Mac OS 9 使用時の注意事項と索引を掲載しています。

目次

第 4 章　便利な印刷機能

第 5 章　印刷品質の設定

第 6 章　困ったときには

第 7 章　付録

はじめに

このたびはキヤノン製品をお買い上げいただき、誠にありがとうございます。本製品の機能を十分にご理解いただき、より効果的にご利用いただくために、ご使用前にこの取扱説明書をよくお読みください。また、お読みいただきました後も大切に保管してください。

本書の読みかた

マークについて

本書では、操作上必ず守っていただきたい事項や操作の説明に、下記のマークを付けています。

重要　操作上、必ず守っていただきたい重要事項や制限事項が書かれています。誤った操作によるトラブルを防ぐために、必ずお読みください。

メモ　操作の参考となることや補足説明が書かれています。お読みになることをおすすめします。

キー・ボタンの表記について

本書では、キー・ボタン名称を以下のように表しています。

- プリンタ上のキー：[キー名称]

  例：［オンライン］

- コンピュータ画面上のボタン：[ボタン名称]

  例：［OK］
  　　［設定］

画面について

本書で使われているコンピュータ操作画面は、お使いの環境によって表示が異なる場合があります。

操作時にクリックするボタンの場所は、◯（丸）で囲んで表しています。また、操作を行うボタンが複数表示されている場合は、それらをすべて囲んでいます。

7 ［プリント］をクリックします。

略称について

本書に記載されている名称は、下記の略称を使用しています。

imagePRESS C7000VP：	iPR C7000VP
imagePRESS C6000：	iPR C6000
imagePRESS C1：	iPR C1
iR C6880 または iR C6880N：	iR C6880
iR C6870 または iR C6870N：	iR C6870
iR C6800 または iR C6800N：	iR C6800
iR C5880 または iR C5880N：	iR C5880
iR C5870 または iR C5870N：	iR C5870
iR C5800 または iR C5800N：	iR C5800
iR C5185 または iR C5185N：	iR C5185
iR C5180 または iR C5180N：	iR C5180
iR C4580 または iR C4580F：	iR C4580
iR C4080 または iR C4080F：	iR C4080
iR C3880 または iR C3880F：	iR C3880
iR C3580 または iR C3580F：	iR C3580
iR C3380 または iR C3380F：	iR C3380
iR C3220 または iR C3220N：	iR C3220
iR C3200 または iR C3200N：	iR C3200
iR C3170 または iR C3170N：	iR C3170
iR C3100、iR C3100N、iR C3100F、iR C3100i：	iR C3100
iR C3080 または iR C3080F：	iR C3080
iR C2880 または iR C2880F：	iR C2880
iR C2620 または iR C2620N：	iR C2620
iR C2570 または iR C2570F：	iR C2570
iR7105i または iR7105B：	iR7105
iR7086N または iR7086B：	iR7086
iR6570 または iR6570N：	iR6570
iR5570 または iR5570N：	iR5570
iR5065 または iR5065N：	iR5065
iR5055 または iR5055N：	iR5055
iR4570 または iR4570F：	iR4570
iR3570 または iR3570F：	iR3570
iR3045 または iR3045F：	iR3045

iR3035 または iR3035F：	iR3035
iR3025 または iR3025F：	iR3025
iR2870 または iR2870F：	iR2870
iR2270 または iR2270F：	iR2270
iR2000、iR2000F、iR2000L、iR2000FL：	iR2000
iR1600、iR1600F、iR1600L、iR1600FL：	iR1600
LBP5910 または LBP5910F：	LBP5910
LBP5910M または LBP5910MF：	LBP5910M
CP680 または CP680 II：	CP680

商標について

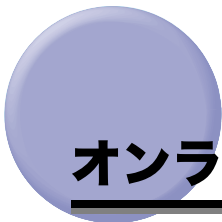
Apple、AppleTalk、ColorSync、Mac、Mac OS、Macintosh は、米国およびその他の国で登録されている Apple Inc. の商標です。

その他、本書中の社名や商品名は、各社の登録商標または商標です。

1

CHAPTER

ご使用の前に

オンラインマニュアルの使い方などについて説明しています。

オンラインマニュアルの使いかた

本オンラインマニュアルでは、Macintosh 用のプリンタドライバの使いかたについて説明しています。本オンラインマニュアルをよくお読みのうえ、正しくご使用ください。
また、本オンラインマニュアルの使いかたについては、[しおり] メニューの [オンラインマニュアルの使いかた]を選択すると、「オンラインマニュアルの使いかた」が表示されます。
使用している Mac OS のバージョンにより、ダイアログの表示が若干異なる場合があります。
本オンラインマニュアル中の画面は、実際の画面と異なる場合があります。
PDF 形式のオンラインマニュアルは、次の方法でご利用いただけます。

重要　Mac OS 9 をお使いの場合、一部のアプリケーションソフトウェアでは、プリンタドライバの [ヘルプ] をクリックしてもヘルプが表示されないことがあります（エラーメッセージが表示されます）。そのときは、プリンタドライバを閉じたあと、お使いのハードディスク内の [LIPS Printer エクストラ] − [LIPS4 プリンタドライバ] から直接ヘルプを起動してください。

メモ　オンラインマニュアルでは、主に Mac OS X の画面を使用しています。ただし、Mac OS 9 と Mac OS X で手順が異なる場合は、それぞれの手順を記載しています。

画面上で参照する場合

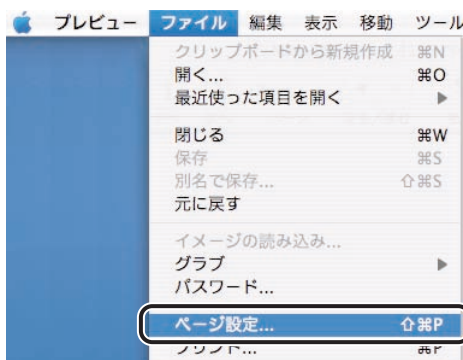
1 **[しおり] メニューから参照するトピックを選択します。**

選択したトピックに関する説明が表示されます。

2 **オンラインマニュアルを終了するときは、[ファイル] メニューの [閉じる] を選択します。**

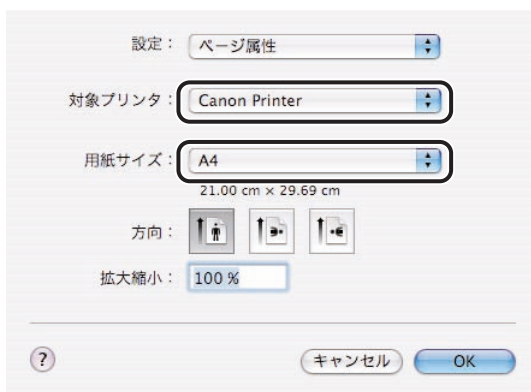
印刷してから参照する場合

1 **オンラインマニュアルを表示します。**

2 ［ファイル］メニューから［ページ設定］（または［用紙設定］）を選択します。

［ページ設定］（または［用紙設定］）ダイアログが表示されます。

3 ［ページ設定］（または［用紙設定］）ダイアログで、［ページ属性］パネルを選択します。

［ページ属性］パネルが表示されます。

4 必要な項目を設定します。

設定項目は、以下のとおりです。

［対象プリンタ］（または［フォーマット］）：印刷するプリンタ

［用紙サイズ］：A4

メモ　A4 サイズ以外の用紙に印刷すると、文字やイラストが欠けて印刷されることがあります。

5 **［ページ設定］（または［用紙設定］）ダイアログの［OK］をクリックします。**

6 **［ファイルメニュー］の［プリント］を選択します。**

［プリント］ダイアログが表示されます。

7 **［プリント］をクリックします。**

8 **オンラインマニュアルを終了するときは、［ファイル］メニューの［閉じる］を選択します。**

2
CHAPTER

プリンタドライバの概要

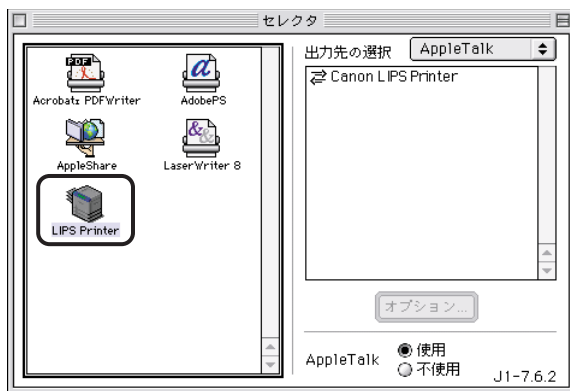
LIPS プリンタドライバの概要について説明しています。

印刷先を設定する

プリンタドライバをインストールしたら、印刷前にあらかじめ印刷先を設定します。

Mac OS 9 用プリンタドライバの場合

1 **Apple メニューから［セレクタ］を選択します。**

2 **［LIPS Printer］アイコンを選択します。**

［出力先の選択］に、本プリンタドライバで使用できるデバイスの一覧が表示されます。

重要

- キャノン製以外のプリンタドライバをインストールした場合は、アイコンの名称が異なります。セレクタにアイコンが表示されないときは、プリンタドライバを再度インストールしてください。
- ［出力先の選択］に、プリンタ名が表示されないときは、プリンタの電源が入っていることを確認してください。

3 [出力先の選択]から使用するプリンタの接続形態([AppleTalk]、[USB]のいずれか)とプリンタを選択します。

4 セレクタを閉じます。

設定が保存されます。

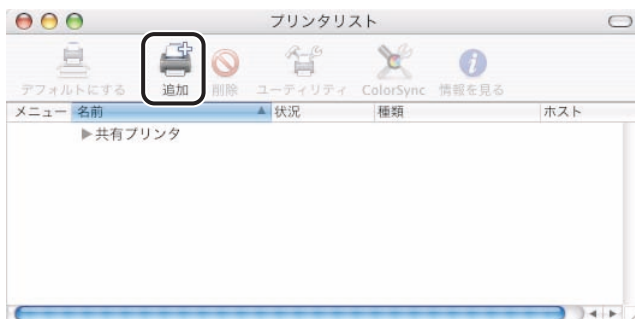
以上で Macintosh から印刷する準備が終了しました。

Mac OS X 用プリンタドライバの場合

USB 接続の場合(Mac OS X 10.2.8 ~ 10.3.9)

1 お使いのハードディスクの[アプリケーション]-[ユーティリティ]フォルダにある、[プリンタ設定ユーティリティ]アイコンをダブルクリックします。

[プリンタリスト]ダイアログが表示されます。

メモ　Mac OS X 10.2.8 をお使いの場合は、[プリンタセンター]アイコンをダブルクリックしてください。

2 ［追加］をクリックします。

メモ ［プリンタリスト］ダイアログの画面は、Mac OS X のバージョンによって異なります。

3 ［USB］を選択します。

4 プリンタ名の一覧からお使いのプリンタを選択したあと、[追加]をクリックします。

Mac OS X 10.3.x をお使いの場合は、お使いのプリンタを選択したあとに、[プリンタの機種]で[LIPS (v.6.xx)]を選択してから[追加]をクリックしてください。

Mac OS X 10.2.8 をお使いの場合は、[種類]が[LIPS (v.6.xx)]と表示されているプリンタを選択してください。それ以外のプリンタは、選択しないでください。

メモ　プリンタ名が表示されないときは、プリンタがお使いのコンピュータと USB ケーブルで接続されていて、電源が入っていることを確認してください。

5 [プリンタリスト]ダイアログにプリンタが追加されていることを確認したあと、[プリンタリスト]ダイアログを閉じます。

メモ　[プリンタリスト]ダイアログにお使いの機種名が表示されない場合は、[Canon Color Printer LIPS](カラープリンタの場合)/[Canon Printer LIPS](モノクロプリンタの場合)と表示されます。

USB 接続の場合（Mac OS X 10.4 以降）

1 **［システム環境設定］を開いて、［プリントとファクス］をクリックします。**

［プリントとファクス］ダイアログが表示されます。

メモ　Mac OS X 10.4.x をお使いの場合は、［プリントとファクス］ダイアログの［プリント］をクリックして、［プリント］パネルを表示します。

2 **［+］をクリックします。**

プリンタ登録のダイアログが表示されます。

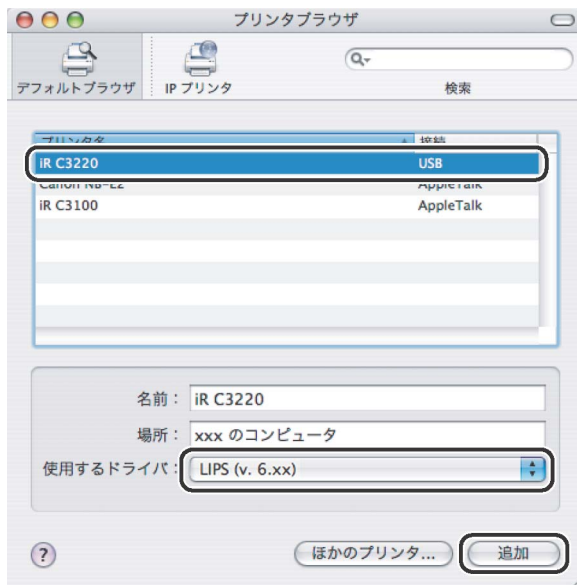
3 ［デフォルトブラウザ］をクリックします。

Mac OS X 10.5 をお使いの場合は、［デフォルト］をクリックします。

メモ　OS のバージョンによって、画面の表示は異なります。

2

プリンタドライバの概要

4 プリンタ名の一覧からお使いのプリンタを選択したあと、［使用するドライバ］（または［ドライバ］）で［LIPS (v.6.xx)］を選択して、［追加］をクリックします。

［接続］が［USB］と表示されているプリンタを選択してください。

メモ　プリンタ名が表示されないときは、プリンタがお使いのコンピュータと USB ケーブルで接続されていて、電源が入っていることを確認してください。

5 ［プリントとファクス］ダイアログのプリンタ名の一覧にプリンタが追加されていることを確認したあと、［プリントとファクス］ダイアログを閉じます。

メモ
- Mac OS X 10.4.x をお使いの場合は、［プリントとファクス］ダイアログの［プリント］パネルで、プリンタ名の一覧にプリンタが追加されていることを確認してください。
- お使いの機種名が表示されない場合は、［Canon Color Printer LIPS］（カラープリンタの場合）／［Canon Printer LIPS］（モノクロプリンタの場合）と表示されます。

AppleTalk 接続の場合（Mac OS X 10.2.8 ～ 10.3.9）

1 **お使いのハードディスクの［アプリケーション］－［ユーティリティ］フォルダにある、［プリンタ設定ユーティリティ］アイコンをダブルクリックします。**

［プリンタリスト］ダイアログが表示されます。

メモ　Mac OS X 10.2.8 をお使いの場合は、［プリントセンター］アイコンをダブルクリックしてください。

2 **［追加］（［プリンタを追加］）をクリックします。**

メモ　［プリンタリスト］ダイアログの画面は、Mac OS X のバージョンによって異なります。

3 **［AppleTalk］を選択します。**

4 プリンタ名の一覧からお使いのプリンタを選択したあと、［追加］をクリックします。

［種類］が［LIPS (v.6.xx)］と表示されているプリンタを選択してください。それ以外のプリンタは、選択しないでください。

メモ　プリンタ名が表示されないときは、プリンタが AppleTalk ネットワークに接続されていて、電源が入っていることを確認してください。

5 ［プリンタリスト］ダイアログにプリンタが追加されていることを確認したあと、［プリンタリスト］ダイアログを閉じます。

メモ　［プリンタリスト］ダイアログにお使いの機種名が表示されない場合は、［Canon Color Printer LIPS］（カラープリンタの場合）／［Canon Printer LIPS］（モノクロプリンタの場合）と表示されます。

AppleTalk 接続の場合（Mac OS X 10.4 以降）

1 **［システム環境設定］を開いて、［プリントとファクス］をクリックします。**

［プリントとファクス］ダイアログが表示されます。

メモ　Mac OS X 10.4.x をお使いの場合は、［プリントとファクス］ダイアログの［プリント］をクリックして、［プリント］パネルを表示します。

2 **［+］をクリックします。**

プリンタ登録のダイアログが表示されます。

3 **［デフォルトブラウザ］をクリックします。**

Mac OS X 10.5 をお使いの場合は、［デフォルト］をクリックします。

4 プリンタ名の一覧からお使いのプリンタを選択したあと、[使用するドライバ]（または［ドライバ]）で［LIPS (v.6.xx)］を選択して、[追加］をクリックします。

［接続］が［AppleTalk］と表示されているプリンタを選択してください。

メモ
- プリンタ名が表示されないときは、プリンタが AppleTalk ネットワークに接続されていて、電源が入ってることを確認してください。
- お使いのゾーンのプリンタが一覧に表示されない場合は、以下の操作を行ってください。
  - ・Mac OS X 10.4.x をお使いのときは、［ほかのプリンタ］をクリックして表示されたダイアログのポップアップメニューから［AppleTalk］を選択して、お使いのゾーンを選択してください。
  - ・Mac OS X 10.5 をお使いのときは、［AppleTalk］をクリックして、お使いのゾーンを選択してください。

5 ［プリントとファクス］ダイアログのプリンタ名の一覧にプリンタが追加されていることを確認したあと、［プリントとファクス］ダイアログを閉じます。

メモ
- Mac OS X 10.4.x をお使いの場合は、［プリントとファクス］ダイアログの［プリント］パネルで、プリンタ名の一覧にプリンタが追加されていることを確認してください。
- お使いの機種名が表示されない場合は、［Canon Color Printer LIPS］（カラープリンタの場合）／［Canon Printer LIPS］（モノクロプリンタの場合）と表示されます。

IP 接続の場合（Mac OS X 10.2.8 ～ 10.3.9）

1 **お使いのハードディスクの［アプリケーション］－［ユーティリティ］フォルダにある、［プリンタ設定ユーティリティ］アイコンをダブルクリックします。**

［プリンタリスト］ダイアログが表示されます。

メモ　Mac OS X 10.2.8 をお使いの場合は、［プリントセンター］アイコンをダブルクリックしてください。

2 **［追加］をクリックします。**

メモ　［プリンタリスト］ダイアログの画面は、Mac OS X のバージョンによって異なります。

3 **［Canon IP (LIPS)］を選択します。**

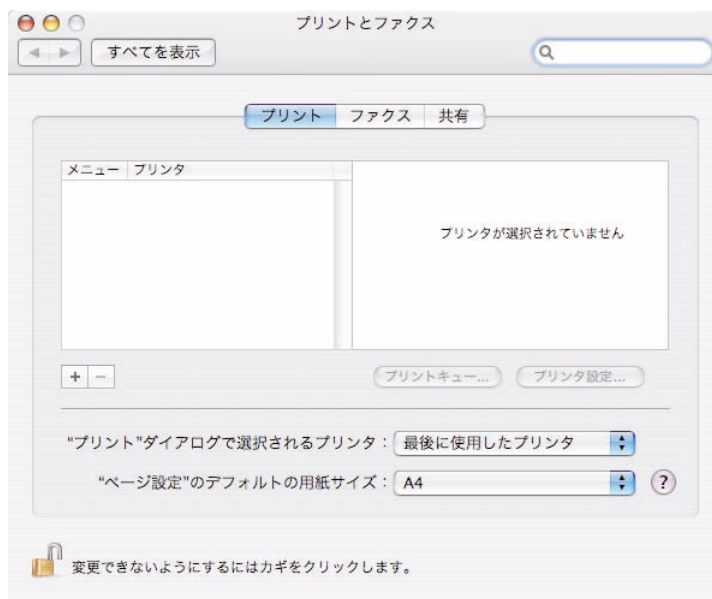
4 **［プリンタのアドレス］に、お使いのプリンタの IP アドレス、または DNS 名称を入力します。**

メモ　IP アドレスをプリンタの名称に使用する場合は、［キュー名］は空白のままにしてください。

5 **［追加］をクリックします。**

6 ［プリンタリスト］ダイアログにプリンタが追加されていることを確認したあと、［プリンタリスト］ダイアログを閉じます。

メモ
- プリンタが追加できないときは、プリンタがネットワークに接続されていて、電源が入っていることを確認してください。
- ［プリンタリスト］ダイアログにお使いの機種名が表示されない場合は、［Canon Color Printer LIPS］（カラープリンタの場合）／［Canon Printer LIPS］（モノクロプリンタの場合）と表示されます。

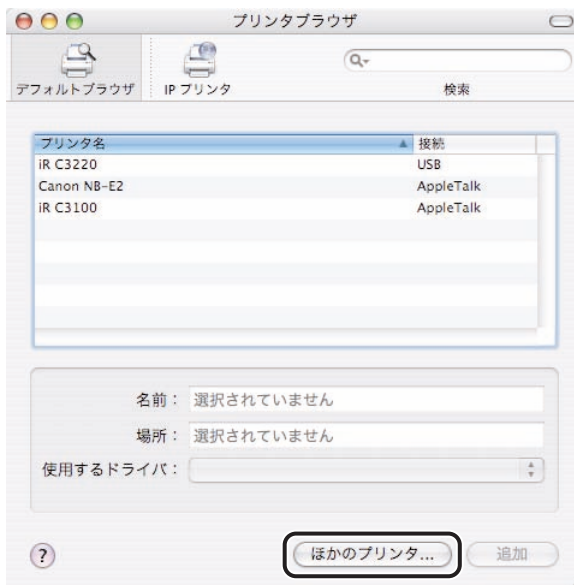
IP 接続の場合（Mac OS X 10.4 以降）

1 ［システム環境設定］を開いて、［プリントとファクス］をクリックします。

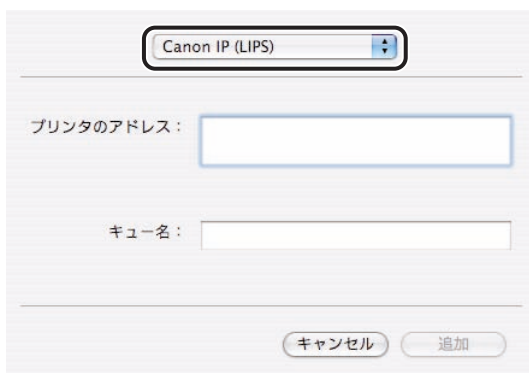
［プリントとファクス］ダイアログが表示されます。

メモ　Mac OS X 10.4.x をお使いの場合は、［プリントとファクス］ダイアログの［プリント］をクリックして、［プリント］パネルを表示します。

2 ［+］をクリックします。

プリンタ登録のダイアログが表示されます。

3 ［ほかのプリンタ］をクリックします。

メモ　OS のバージョンによって、画面の表示は異なります。

4 ［Canon IP (LIPS)］を選択します。

5 ［プリンタのアドレス］に、お使いのプリンタの IP アドレス、または DNS 名称を入力します。

メモ　IP アドレスをプリンタの名称に使用する場合は、［キュー名］は空白のままにしておいてください。

6 ［追加］をクリックします。

7 ［プリントとファクス］ダイアログのプリンタ名の一覧にプリンタが追加されていることを確認したあと、［プリントとファクス］ダイアログを閉じます。

メモ

- Mac OS X 10.4.x をお使いの場合は、［プリントとファクス］ダイアログの［プリント］パネルで、プリンタ名の一覧にプリンタが追加されていることを確認してください。
- プリンタが追加できないときは、プリンタがネットワークに接続されていて、電源が入っていることを確認してください。
- お使いの機種名が表示されない場合は、［Canon Color Printer LIPS］（カラープリンタの場合）／［Canon Printer LIPS］（モノクロプリンタの場合）と表示されます。

以上で Macintosh から印刷する準備が終了しました。

プリンタ情報を確認する

初めてプリンタドライバを使用するときや、プリンタの構成を変更したときは、プリンタの情報を確認します。
プリンタの機種名、プリンタのパネルに表示されているメッセージ、プリンタにセットされているオプション、排紙情報、カセットの用紙残量を含む給紙情報、フォント情報など、プリンタについての情報を確認することができます。

メモ　Mac OS X 用のプリンタドライバの画面を使用しています。

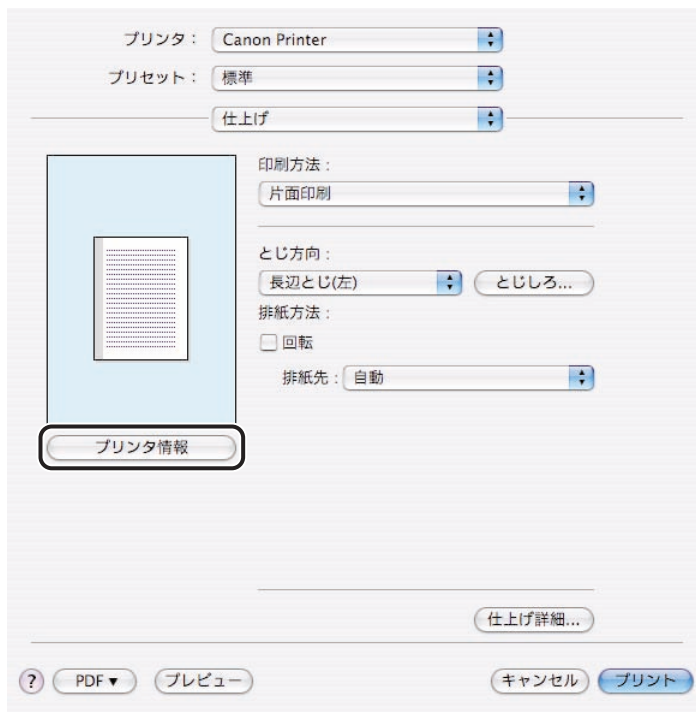
1 アプリケーションソフトウェアの［ファイル］メニューから［プリント］を選択します。

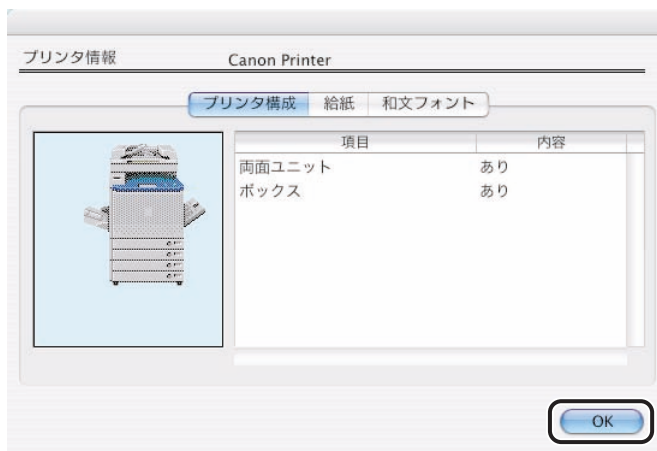
［プリント］ダイアログが表示されます。

2 ［プリント］ダイアログで、パネルを選択します。

以下から選択します。

- ［仕上げ］パネル
- ［給紙］パネル
- ［印刷品質］パネル
- ［特別処理］パネル

3 ［プリンタ情報］をクリックします。

［プリンタ情報］ダイアログが表示されます。

4 プリンタ情報を確認したあと、［OK］をクリックします。

ColorSync を設定する（プロファイルの設定）

カラー（モノクロ印刷の場合は、グレースケール）を調整する前に、ColorSync の設定を行ってください。ColorSync は、マッチング（印刷仕上がりの色を一致させる）のためのソフトウェアです。この設定を行わないと、画面の色みと印刷結果の色みが大きく異なる場合があります。

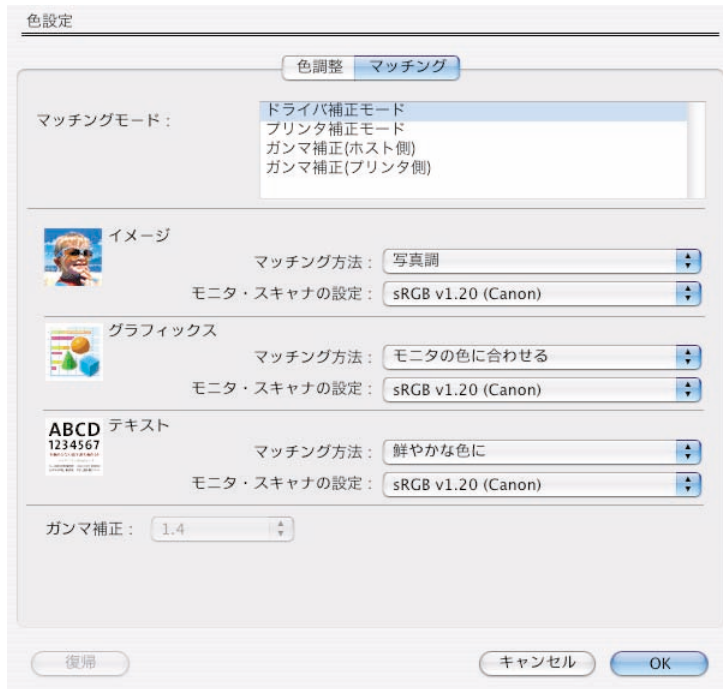
メモ
- 印刷先の設定を行うときに、プリンタ名が［Canon Color Printer LIPS］または［Canon Printer LIPS］と表示されていたプリンタは、本項目の設定を行うことができません。
- ColorSync の設定は、印刷するファイルごとに行う必要があります。
- ColorSync の古いバージョンと新しいバージョンが、システムフォルダに混在していないことを確認してください。ColorSync は Apple Computer 社製のカラーマネジメントシステムです。なお、ColorSync のバージョンにより、下記の手順と異なる場合があります。
- Mac OS での ColorSync の設定（Mac OS 9 の場合：［コントロールパネル］－［ColorSync］、Mac OS X の場合：［システム環境設定］－［ColorSync］）は、印刷結果には反映されません。下記の手順でプリンタドライバで設定してください。
- Mac OS X 用のプリンタドライバの画面を使用しています。

1 **アプリケーションソフトウェアの［ファイル］メニューから［プリント］を選択します。**

［プリント］ダイアログが表示されます。

2 **［プリント］ダイアログで、［印刷品質］パネルを選択します。**

［印刷品質］パネルが表示されます。

3 ［色設定］をクリックして、［マッチング］シートを表示します。

4 ［マッチング］シートで、お使いのディスプレイのガンマ値にあった設定を選択します。

最適な色を再現するように調整されたプロファイルが用意されています。通常は、以下の中から選択します。お使いのディスプレイによっては、他のプロファイルのほうが画面表示に近い色になることもありますが、以下のプロファイルを選ぶほうがより美しい色で印刷できます。

ディスプレイ	プリンタ
sRGB v1.31（Canon）	iPR C7000VP/C6000/C1、iR C6880/C6870/C5880/C5870/C5185/C5180/C4580/C4080/C3880/C3580/C3380/C3170/C3080/C2880/C2570、LBP5910/5910M/5900/5400
sRGB v1.20（Canon）	LBP5800/5700/5500/2810/2710/2510/2360/2300/2050、iR C6800/C5800/C3220/C3200/C3100/C2620、CP680 LIPS-C1（カラー印刷時）
Canon HDTV gamma 1.5 ～ 2.4 Monitor	上記以外のプリンタ

5 ［OK］をクリックします。

印刷する

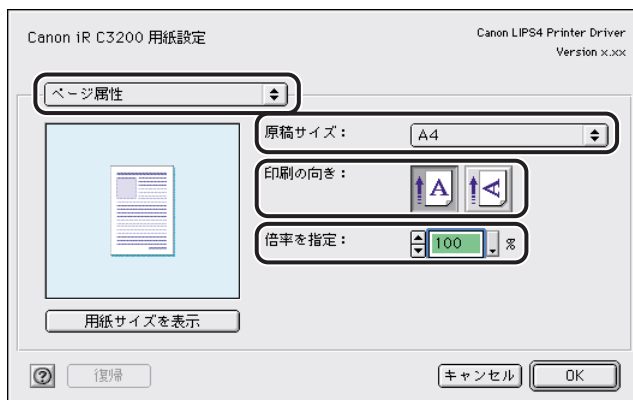
ここでは、アプリケーションソフトウェアから原稿を印刷する手順を説明しています。なお、印刷手順はアプリケーションソフトウェアによって異なります。詳しくは、各アプリケーションソフトウェアに付属の取扱説明書を参照してください。
Mac OS 9 と Mac OS X で手順が異なります。

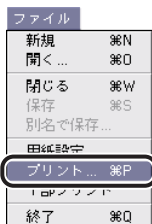
Mac OS 9 用プリンタドライバの場合

1 **アプリケーションソフトウェアを起動します。**

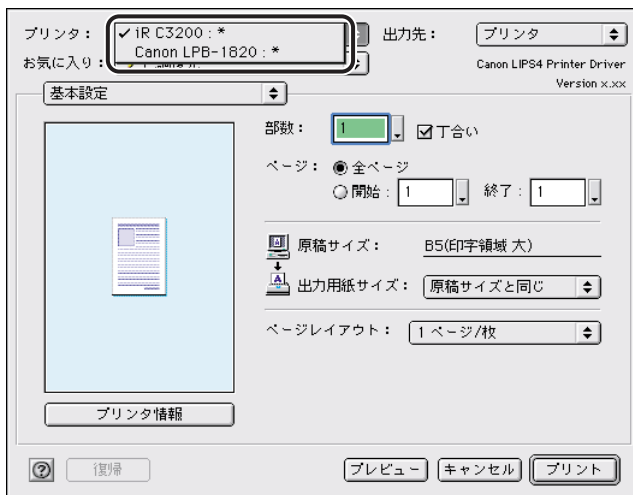
2 **［ファイル］メニューから［用紙設定］を選択します。**

［用紙設定］ダイアログが表示されます。

3 **［ページ属性］が選択されていることを確認して、原稿サイズ、印刷方向、倍率を設定します。**

4 ［用紙設定］ダイアログの［OK］をクリックします。

5 ［ファイル］メニューから［プリント］を選択します。

［プリント］ダイアログが表示されます。

メモ　［プリント］ダイアログの表示は、お使いのアプリケーションソフトウェアによって異なることがあります。

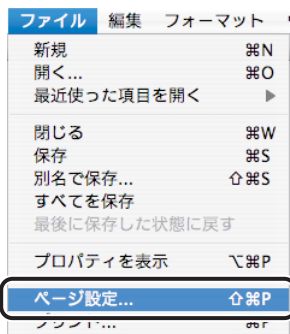
6 ［プリンタ］のポップアップメニューから、プリンタ名を選択します。

ゾーンが設定されている AppleTalk 環境では、ポップアップメニューに［プリンタ名：ゾーン名］が表示されます。

7 ページ範囲、部数などを設定して、［プリント］をクリックします。

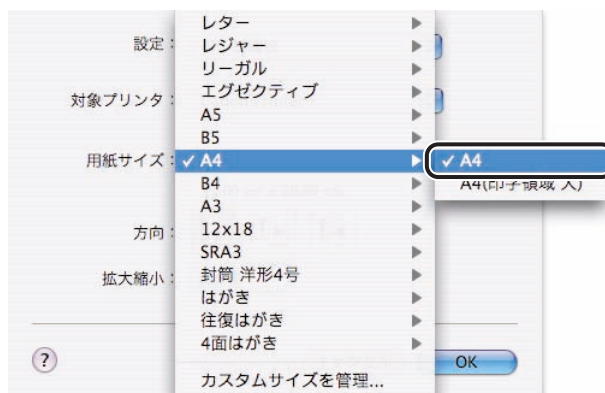
印刷が開始されます。

Mac OS X 用プリンタドライバの場合

1 アプリケーションソフトウェアを起動して、印刷する原稿を表示します。

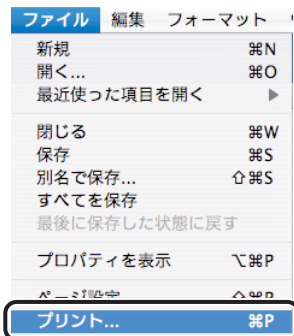
2 ［ファイル］メニューから［ページ設定］（または［用紙設定］）を選択します。

［ページ設定］（または［用紙設定］）ダイアログが表示されます。

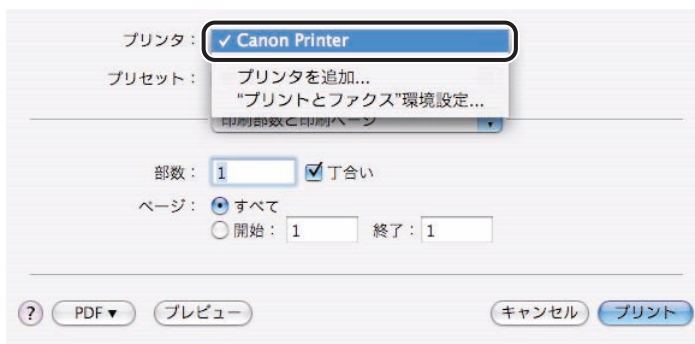
3 ［設定］で［ページ属性］が選択されていることを確認して、［対象プリンタ］で印刷するプリンタを選択します。

4 用紙サイズ、用紙の向き、拡大縮小率を設定します。

5 [ページ設定]（または［用紙設定]）ダイアログの［OK］をクリックします。

6 [ファイル］メニューから［プリント］を選択します。

［プリント］ダイアログが表示されます。

メモ

［プリント］ダイアログの表示は、お使いのアプリケーションソフトウェアによって異なることがあります。

7 [プリンタ］から印刷するプリンタ名を選択します。

8 ページ範囲、部数などを設定したあと、［プリント］をクリックします。

印刷が開始されます。

3
CHAPTER

基本的な印刷機能

LIPS プリンタドライバの基本的な印刷機能について説明しています。

用紙サイズを指定する

印刷する用紙のサイズを指定します。

メモ　Mac OS X 用のプリンタドライバの画面を使用しています。

1 **アプリケーションソフトウェアの［ファイル］メニューから［ページ設定］（または［用紙設定］）を選択します。**

［ページ設定］（または［用紙設定］）ダイアログが表示されます。

2 **［ページ設定］（または［用紙設定］）ダイアログで、［ページ属性］パネルを選択します。**

［ページ属性］パネルが表示されます。

3 **［用紙サイズ］（または［原稿サイズ］）で、印刷する用紙のサイズを指定します。**

お使いの機種によって、使用可能な用紙サイズは異なります。詳しくは、「印刷できる用紙サイズ」（→ P.3-8）を参照してください。

4 **［OK］をクリックします。**

印刷方向を指定する

印刷方向を指定して印刷することができます。

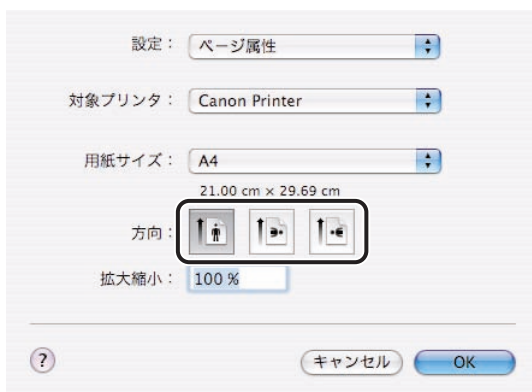
メモ　Mac OS X 用のプリンタドライバの画面を使用しています。

1 **アプリケーションソフトウェアの［ファイル］メニューから［ページ設定］（または［用紙設定］）を選択します。**

［ページ設定］（または［用紙設定］）ダイアログが表示されます。

2 **［ページ設定］（または［用紙設定］）ダイアログで、［ページ属性］パネルを選択します。**

［ページ属性］パネルが表示されます。

3 **［方向］（または［印刷の向き］）で印刷方向を選択します。**

メモ　Mac OS X 10.5 をお使いの場合、横方向のアイコンは 1 種類のみ表示されます。お使いのアプリケーションソフトウェアによっては、［レイアウト］パネルの［ページの方向を反転］にチェックマークを付けて、縦／横方向の逆向き（回転）で印刷することができます。

4 **［OK］をクリックします。**

拡大・縮小して印刷する

原稿を拡大、または縮小して印刷することができます。

メモ　Mac OS X 用のプリンタドライバの画面を使用しています。

1 **アプリケーションソフトウェアの［ファイル］メニューから［ページ設定］（または［用紙設定］）を選択します。**

［ページ設定］（または［用紙設定］）ダイアログが表示されます。

2 **［ページ設定］（または［用紙設定］）ダイアログで、［ページ属性］パネルを選択します。**

［ページ属性］パネルが表示されます。

3 **［拡大縮小］（または［倍率を指定］）で、原稿サイズの拡大縮小率を設定します。**

メモ　Mac OS 9 で 25% ～ 400% の範囲に入らない値を設定したときは、25%、または 400% の値に設定されます。

4 **［OK］をクリックします。**

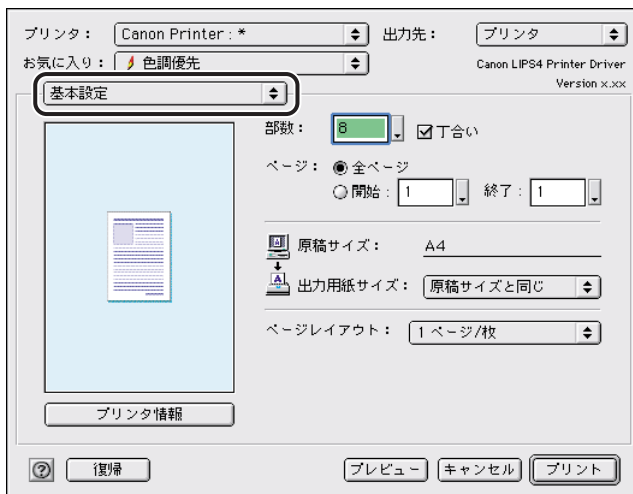
原稿と異なるサイズの用紙に印刷する（Mac OS 9/Mac OS X 10.4 以降のみ）

通常、原稿はアプリケーションソフトウェア上の原稿のサイズと同じサイズの用紙に印刷されます。Mac OS 9 と Mac OS X 10.4 以降では、これに加えて、原稿のサイズとは異なるサイズの用紙に印刷することもできます。この場合、原稿の内容は、出力する用紙のサイズ（出力サイズ）に合わせて自動的に拡大または縮小して印刷されます。

Mac OS 9 用プリンタドライバの場合

1 **アプリケーションソフトウェアの［ファイル］メニューから［プリント］を選択します。**

［プリント］ダイアログが表示されます。

2 **［プリント］ダイアログで、［基本設定］パネルを選択します。**

［基本設定］パネルが表示されます。

メモ　［原稿サイズ］には、［用紙設定］ダイアログの［ページ属性］パネルで設定したアプリケーションソフトウェア上の原稿のサイズが表示されます。

3 ［出力用紙サイズ］のポップアップメニューから、出力サイズを選択します。

ダイアログ左の用紙イメージが、設定した出力サイズに合わせて変化します。

4 ［プリント］をクリックします。

Mac OS X 用プリンタドライバの場合（Mac OS X 10.4 以降のみ）

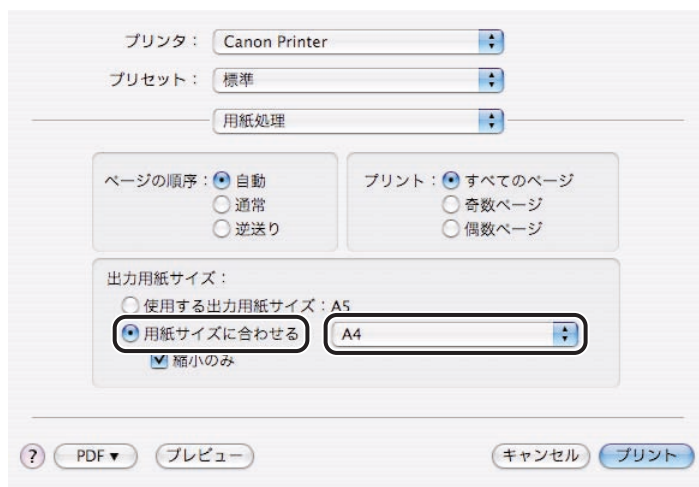
Mac OS X 10.4 以降をお使いの場合のみ、［プリント］ダイアログで用紙サイズを設定できます。

1 アプリケーションソフトウェアの［ファイル］メニューから［プリント］を選択します。

［プリント］ダイアログが表示されます。

2 ［プリント］ダイアログで、［用紙処理］パネルを選択します。

［用紙処理］パネルが表示されます。

3 ［出力用紙サイズ］で［用紙サイズに合わせる］を選択したあと、ポップアップメニューから出力用紙サイズを選択します。

メモ　原稿を拡大して印刷したくない場合は、［縮小のみ］にチェックマークを付けます。

4 ［プリント］をクリックします。

印刷できる用紙サイズ

お使いのプリンタによって、使用できる用紙サイズが異なります。印刷できる用紙サイズは、以下のとおりです。

メモ
- ユーザ定義用紙は、ユーザが独自に設定できる用紙サイズです。詳しくは、「ユーザ定義用紙を設定する」（→ P.4-56）を参照してください。
- 使用できる用紙サイズは、プリンタの機種によって異なります。また、使用する用紙サイズ、用紙の種類によって、給紙方法が異なります。詳しくは、プリンタに付属の取扱説明書を参照してください。

■ LBP5910/5910M

A3、A4、A5、B4、B5、はがき、往復はがき、4 面はがき、レジャー、リーガル、レター、エグゼクティブ、SRA3、12 x 18、封筒 角形 2 号、封筒 洋形 2 号、封筒 洋形 4 号、
ユーザ定義用紙（98.0 x 139.7 ～ 320.0 x 457.2 mm）

メモ　印字領域（大）を指定すると、印字領域をより広くすることができます。

■ LBP5900

A3、A4、A5、B4、B5、はがき、往復はがき、4 面はがき、レジャー、リーガル、レター、エグゼクティブ、12 x 18、封筒 角形 2 号、封筒 洋形 2 号、封筒 洋形 4 号、
ユーザ定義用紙（98.0 x 148.0 ～ 312.0 x 457.2 mm）

■ LBP5800/5700/2810/2710

A3、A4、A5、B4、B5、はがき、レジャー、リーガル、レター、エグゼクティブ、封筒 角形 2 号、封筒 洋形 4 号、
ユーザ定義用紙（76.2 x 98.0 ～ 312.0 x 469.9 mm）

■ LBP5500/2510

A4、A5、B5、はがき、往復はがき、リーガル、レター、エグゼクティブ、封筒 角形 2 号、封筒 洋形 4 号、
ユーザ定義用紙（76.2 x 127.0 ～ 216.0 x 356.0 mm）

■ LBP5400/3410

A4、A5、B5、はがき、往復はがき、4 面はがき、リーガル、レター、エグゼクティブ、封筒 洋形 2 号、封筒 洋形 4 号、
ユーザ定義用紙（76.2 x 127.0 ～ 215.9 x 355.6 mm）

メモ　印字領域（大）を指定すると、印字領域をより広くすることができます。

■ LBP3970/3920

A3、A4、A5、B4、B5、はがき、往復はがき、4 面はがき、レジャー、リーガル、レター、エグゼクティブ、封筒 角形 2 号、封筒 洋形 2 号、封筒 洋形 4 号、
ユーザ定義用紙（90.0 x 148.0 ～ 312.0 x 470.0 mm）

メモ　印字領域（大）を指定すると、印字領域をより広くすることができます。

■ LBP3950/3900

A3、A4、A5、B4、B5、はがき、往復はがき、4 面はがき、レジャー、リーガル、レター、エグゼクティブ、封筒 角形 2 号、封筒 洋形 2 号、封筒 洋形 4 号、
ユーザ定義用紙（98.0 x 148.0 ～ 312.0 x 470.0 mm）

メモ　印字領域（大）を指定すると、印字領域をより広くすることができます。

■ LBP3930/3910

A3、A4、A5、B4、B5、はがき、往復はがき、4 面はがき、レジャー、リーガル、レター、エグゼクティブ、封筒 角形 2 号、封筒 洋形 2 号、封筒 洋形 4 号、
ユーザ定義用紙（85.0 x 127.0 ～ 312.0 x 470.0 mm）

メモ　印字領域（大）を指定すると、印字領域をより広くすることができます。

■ LBP3800/3700

A3、A4、A5、B4、B5、はがき、往復はがき、4 面はがき、レジャー、リーガル、レター、エグゼクティブ、封筒 角形 2 号、封筒 洋形 2 号、封筒 洋形 4 号、
ユーザ定義用紙（76.2 x 127.0 ～ 297.0 x 431.8 mm）

メモ　印字領域（大）を指定すると、印字領域をより広くすることができます。

■ LBP-2360/2300、CP680 LIPS-C1/B1

A3、A4、A5、B4、B5、はがき、レジャー、リーガル、レター、エグゼクティブ、封筒 角形 2 号、封筒 洋形 4 号、
ユーザ定義用紙（100.0 x 190.0 ～ 304.8 x 469.9 mm）

■ LBP-2050

A4、A5、B5、はがき、リーガル、レター、エグゼクティブ、封筒 洋形 4 号、
ユーザ定義用紙（76.2 x 127.0 ～ 216.0 x 356.0 mm）

■ LBP-1910

A3、A4、A5、B4、B5、レジャー、リーガル、レター、エグゼクティブ、封筒 角形 2 号、封筒 洋形 4 号、
ユーザ定義用紙（98.4 x 190.5 ～ 297.0 x 431.8 mm）

■ LBP-1820/1810/1620/1610

A3、A4、A5、B4、B5、はがき、往復はがき、レジャー、リーガル、レター、エグゼクティブ、封筒 洋形 4 号、
ユーザ定義用紙（76.2 x 127.0 ～ 312.0 x 469.9 mm）

■ **LBP-1710/1510**

A3、A4、A5、B4、B5、はがき、往復はがき、レジャー、リーガル、レター、エグゼクティブ、封筒 洋形 2 号、封筒 洋形 4 号、
ユーザ定義用紙（76.2 x 98.0 〜 297.0 x 431.8 mm）

■ **LBP-1420**

A3、A4、A5、B4、B5、はがき、往復はがき、レジャー、リーガル、レター、エグゼクティブ、封筒 洋形 2 号、封筒 洋形 4 号、
ユーザ定義用紙（76.2 x 98.0 〜 297.0 x 431.8 mm）

■ **LBP-1310**

A4、A5、B5、はがき、往復はがき、リーガル、レター、エグゼクティブ、封筒 洋形 4 号、
ユーザ定義用紙（76.2 x 127.0 〜 215.9 x 355.6 mm）

■ **LBP-950**

A3、A4、A5、B4、B5、レジャー、リーガル、レター、エグゼクティブ、封筒 角形 2 号、封筒 洋形 4 号、
ユーザ定義用紙（100.0 x 190.5 〜 297.0 x 431.8 mm）

■ **iPR C7000VP/C6000**

A3、A4、A5、B4、B5、往復はがき、4 面はがき、レジャー、リーガル、レター、
エグゼクティブ、SRA3、12 x 18、13 x 19、
ユーザ定義用紙（139.7 x 182.0 〜 330.2 x 487.7 mm）

メモ　印字領域（大）を指定すると、印字領域をより広くすることができます。

■ **iPR C1**

A3、A4、A5、B4、B5、はがき、往復はがき、4 面はがき、レジャー、リーガル、レター、
エグゼクティブ、SRA3、12 x 18、13 x 19、
ユーザ定義用紙（100.0 x 148.0 〜 330.0 x 483.0 mm）

メモ　印字領域（大）を指定すると、印字領域をより広くすることができます。

■ **iR C6880/C5880**

A3、A4、A5、B4、B5、はがき、往復はがき、4 面はがき、レジャー、リーガル、レター、
エグゼクティブ、SRA3、12 x 18、13 x 19、
ユーザ定義用紙（100.0 x 148.0 〜 330.0 x 483.0 mm）

メモ
- 印字領域（大）を指定すると、印字領域をより広くすることができます。
- SRA3 用紙をお使いの場合、左右の余白は 7.5 mm 固定となります。

■ iR C6870/C6800/C5870/C5800

A3、A4、A5、B4、B5、はがき、往復はがき、4 面はがき、レジャー、リーガル、レター、エグゼクティブ、SRA3、12 x 18、13 x 19、
ユーザ定義用紙（100.0 x 148.0 〜 313.0 x 474.0 mm）

メモ
- 印字領域（大）を指定すると、印字領域をより広くすることができます。
- SRA3 用紙をお使いの場合、左右の余白は 7.5 mm 固定となります。

■ iR C5185/C5180/C4580/C3880

A3、A4、A5、B4、B5、はがき、往復はがき、4 面はがき、レジャー、リーガル、レター、エグゼクティブ、SRA3、12 x 18、封筒 角形 2 号、封筒 長形 3 号、
ユーザ定義用紙（100.0 x 148.0 〜 320.0 x 457.2 mm）

メモ　印字領域（大）を指定すると、印字領域をより広くすることができます。

■ iR C3580/C3380/C3080/C2880

A3、A4、A5、B4、B5、はがき、往復はがき、4 面はがき、レジャー、リーガル、レター、エグゼクティブ、SRA3、12 x 18、封筒 洋形 4 号、
ユーザ定義用紙（99.0 x 140.0 〜 320.0 x 457.2 mm）

メモ　印字領域（大）を指定すると、印字領域をより広くすることができます。

■ iR C3220/C3200/C2620

A3、A4、A5、B4、B5、はがき、往復はがき、4 面はがき、レジャー、リーガル、レター、エグゼクティブ、SRA3、12 x 18、封筒 角形 2 号、封筒 長形 3 号、
ユーザ定義用紙（100.0 x 148.0 〜 306.0 x 457.0 mm）

メモ
- 印字領域（大）を指定すると、印字領域をより広くすることができます。
- SRA3 用紙をお使いの場合、左右の余白は 7.5 mm 固定となります。

■ iR C3170/C2570

A3、A4、A5、B4、B5、はがき、往復はがき、4 面はがき、レジャー、リーガル、レター、エグゼクティブ、SRA3、12 x 18、封筒 洋形 4 号、
ユーザ定義用紙（99.0 x 140.0 〜 310.0 x 457.0 mm）

メモ
- 印字領域（大）を指定すると、印字領域をより広くすることができます。
- SRA3 用紙をお使いの場合、左右の余白は 7.5 mm 固定となります。

■ iR C3100

A3、A4、A5、B4、B5、はがき、往復はがき、4 面はがき、レジャー、リーガル、レター、エグゼクティブ、SRA3、12 x 18、封筒 洋形 4 号、
ユーザ定義用紙（99.0 x 140.0 〜 308.0 x 457.0 mm）

メモ
- 印字領域（大）を指定すると、印字領域をより広くすることができます。
- SRA3 用紙をお使いの場合、左右の余白は 7.5 mm 固定となります。

■ iR105i

A3、A4、A5、B4、B5、4 面はがき、レジャー、リーガル、レター、エグゼクティブ、ユーザ定義用紙（100.0 x 148.0 〜 297.0 x 432.0 mm）

メモ　印字領域（大）を指定すると、印字領域をより広くすることができます。

■ iR105-E/105

A3、A4、A5、B4、B5、4 面はがき、レジャー、リーガル、レター、エグゼクティブ、SRA3、
ユーザ定義用紙（100.0 x 148.0 〜 297.0 x 432.0 mm）

■ iR7105/7095i/7086

A3、A4、A5、B4、B5、はがき、往復はがき、4 面はがき、レジャー、リーガル、レター、エグゼクティブ、
ユーザ定義用紙（100.0 x 148.0 〜 297.0 x 431.8 mm）

メモ　印字領域（大）を指定すると、印字領域をより広くすることができます。

■ iR8570N/8500-E/8500/7270N/7200-E/7200/6060i/6050i/6010/6000i/6000/5160i/5150i/5110/5000i/5000

A3、A4、A5、B4、B5、はがき、往復はがき、4 面はがき、レジャー、リーガル、レター、エグゼクティブ、
ユーザ定義用紙（100.0 x 148.0 〜 297.0 x 432.0 mm）

■ iR6570/5570

A3、A4、A5、B4、B5、はがき、往復はがき、4 面はがき、レジャー、リーガル、レター、ユーザ定義用紙（99.0 x 148.0 〜 297.0 x 432.0 mm）

メモ　印字領域（大）を指定すると、印字領域をより広くすることができます。

■ iR5075N/5065/5055

A3、A4、A5、B4、B5、はがき、往復はがき、4 面はがき、レジャー、リーガル、レター、エグゼクティブ、
ユーザ定義用紙（99.0 x 148.0 〜 297.0 x 431.8 mm）

メモ　印字領域（大）を指定すると、印字領域をより広くすることができます。

■ iR4570/3570/2870/2270

A3、A4、A5、B4、B5、はがき、往復はがき、4 面はがき、レジャー、リーガル、レター、エグゼクティブ、封筒 洋形 4 号、
ユーザ定義用紙（99.0 x 148.0 〜 297.0 x 432.0 mm）

メモ　印字領域（大）を指定すると、印字領域をより広くすることができます。

■ iR3350i/3310/3300i/3300/2850i/2810/2800i/2800/2250i/2210/2200i/2200

A3、A4、A5、B4、B5、はがき、往復はがき、4 面はがき、レジャー、リーガル、レター、エグゼクティブ、封筒 洋形 4 号、
ユーザ定義用紙（100.0 x 138.0 ～ 297.0 x 432.0 mm）

■ iR3250

A3、A4、A5、B4、B5、レジャー、リーガル、レター、エグゼクティブ、封筒 洋形 4 号、
ユーザ定義用紙（100.0 x 190.5 ～ 297.0 x 431.8 mm）

■ iR3045/3035/3025

A3、A4、A5、B4、B5、はがき、往復はがき、4 面はがき、レジャー、リーガル、レター、エグゼクティブ、封筒 洋形 4 号、
ユーザ定義用紙（99.0 x 148.0 ～ 297.0 x 431.8 mm）

メモ　印字領域（大）を指定すると、印字領域をより広くすることができます。

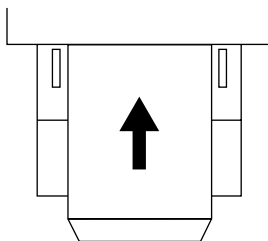
■ iR2000/1600/1500

A3、A4、A5、B4、B5、はがき、往復はがき、レジャー、リーガル、レター、エグゼクティブ、封筒 洋形 2 号、封筒 洋形 4 号、
ユーザ定義用紙（98.0 x 139.7 ～ 297.0 x 431.8 mm）

■ iR400/GP405 LIPS-D2

A3、A4、A5、B4、B5、はがき、レジャー、リーガル、レター、
ユーザ定義用紙（100.0 x 148.5 ～ 297.0 x 431.8 mm）

封筒を使用するときの注意

出力用紙を［封筒 角形 2 号］／［封筒 長形 3 号］に設定したときには、メッセージが表示されます。メッセージに従って、以下の図のように給紙してください。封筒 角形 2 号／封筒 長形 3 号は、一部の機種で使用できます。詳しくは、「印刷できる用紙サイズ」(→ P.3-8)を参照してください。

メモ　封筒の印刷面を上にして、ふたの部分が手前になるようにセットします。

はがきを使用するときの注意（LBP3800/3700/2360/2300/CP680 LIPS-C1/B1 のみ）

出力用紙サイズをはがきに設定した場合は、［プリント］ダイアログの［仕上げ］－［仕上げ詳細］－［はがき印刷］で、印刷処理の方法（［画質優先］／［スピード優先］／［薄紙印刷］）を選択できます。デフォルトでは、［画質優先］が選択されています。［スピード優先］を選択したときには、以下の設定を行ってください。

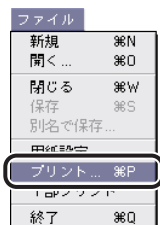
- ［印刷品質］－［品質設定］－［処理オプション］－［グレー補償］で［使わない］に設定する。
- ［印刷品質］－［色設定］－［マッチング］－［マッチングモード］で［ガンマ補正］を選択する。［ガンマ補正］は、カラー印刷時には［1.4］、モノクロ印刷時には［2.2］に設定する。

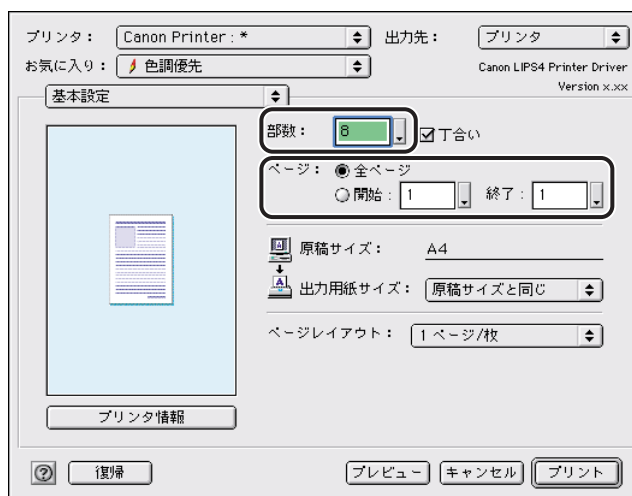
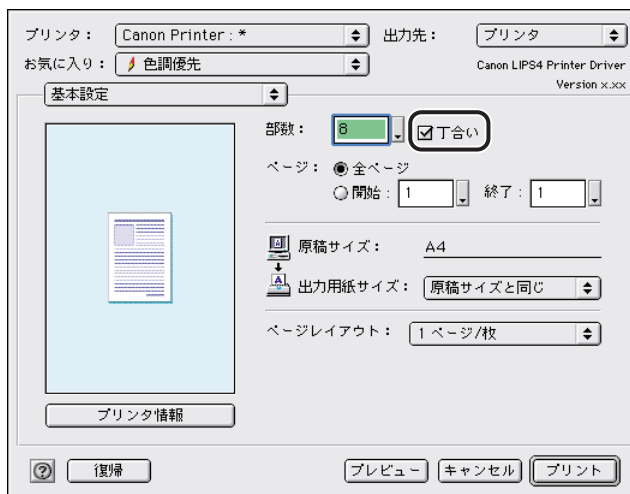
メモ　LBP3800/3700 をお使いの場合のみ、［薄紙印刷］を選択できます。

部数とページ範囲を設定する

印刷する部数とページ範囲を以下の手順で設定します。

Mac OS 9 用プリンタドライバの場合

1 **アプリケーションソフトウェアの［ファイル］メニューから［プリント］を選択します。**

［プリント］ダイアログが表示されます。

2 **［基本設定］パネルが表示されていることを確認して、［部数］と［ページ］を設定します。**

3 ［部数］で複数部数を印刷するように設定したときは、［丁合い］にチェックマークを付けます。

メモ　例えば、3 ページの原稿を 2 部印刷する場合に、［丁合い］にチェックマークが付いていると、「123, 123」と部単位ごとに出力されます。チェックマークを外したときには、「11,22, 33」とページごとに出力されます。

Mac OS X 用プリンタドライバの場合

1 アプリケーションソフトウェアの［ファイル］メニューから［プリント］を選択します。

［プリント］ダイアログが表示されます。

2 ［印刷部数と印刷ページ］パネルが表示されていることを確認して、［部数］と［ページ］を設定します。

一部のページのみを印刷するときは、開始ページと終了ページを入力します。

3 2 部以上印刷する場合に部単位で排紙したいときは、［丁合い］にチェックマークを付けます。

メモ　例えば、3 ページの原稿を 2 部印刷する場合に、［丁合い］にチェックマークが付いていると、「123, 123」と部単位ごとに出力されます。チェックマークを外したときには、「11,22, 33」とページごとに出力されます。

4 ［プリント］をクリックします。

複数ページ分を 1 枚の用紙に印刷する

複数ページの原稿を並べて、1 枚の用紙に縮小して印刷することができます。

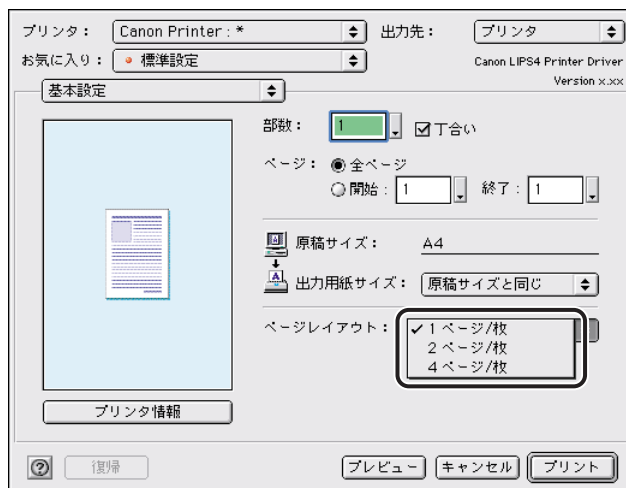
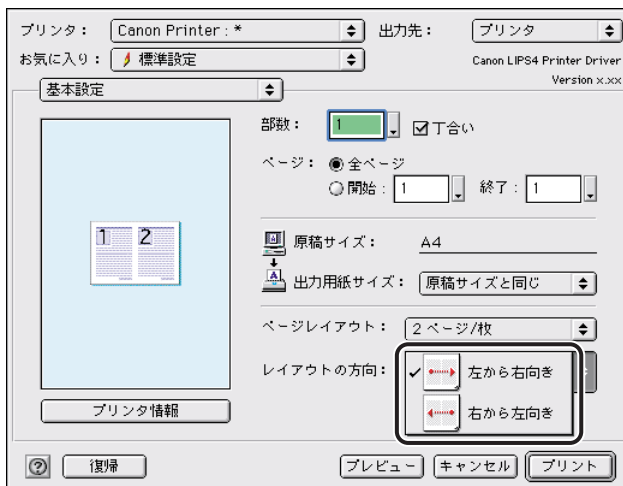
Mac OS 9 用プリンタドライバの場合

1 **アプリケーションソフトウェアの［ファイル］メニューから［プリント］を選択します。**

［プリント］ダイアログが表示されます。

2 **［プリント］ダイアログで、［基本設定］パネルを選択します。**

［基本設定］パネルが表示されます。

3 **［ページレイアウト］で、1 枚の用紙に何ページ分を印刷するかを選択します。**

4 **［レイアウトの方向］で、［ページレイアウト］で設定したページのレイアウトの方向を設定します。**

5 **［プリント］をクリックします。**

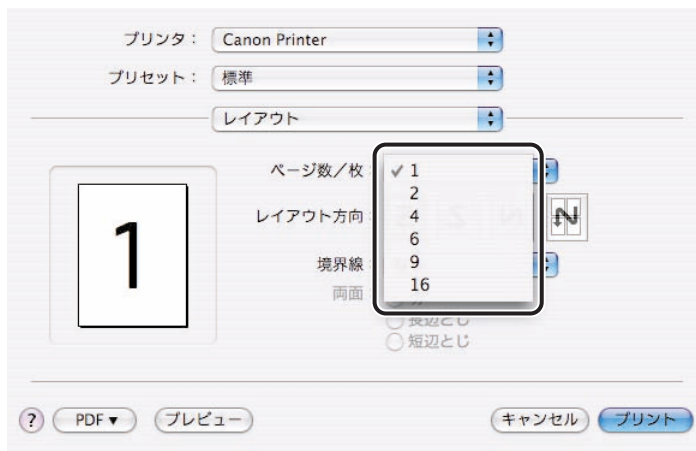
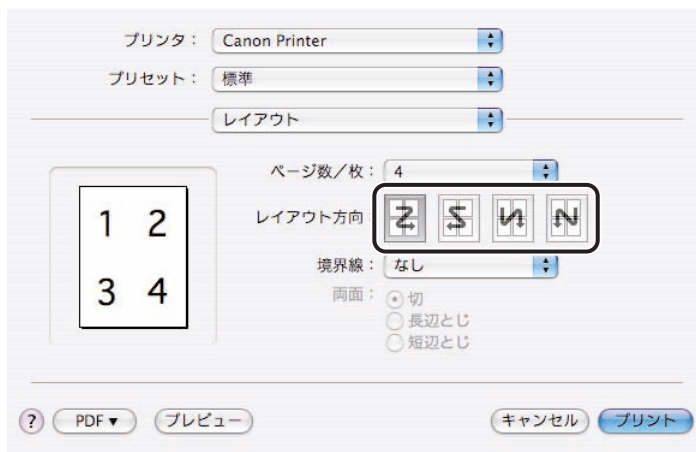
Mac OS X 用プリンタドライバの場合

1 **アプリケーションソフトウェアの［ファイル］メニューから［プリント］を選択します。**

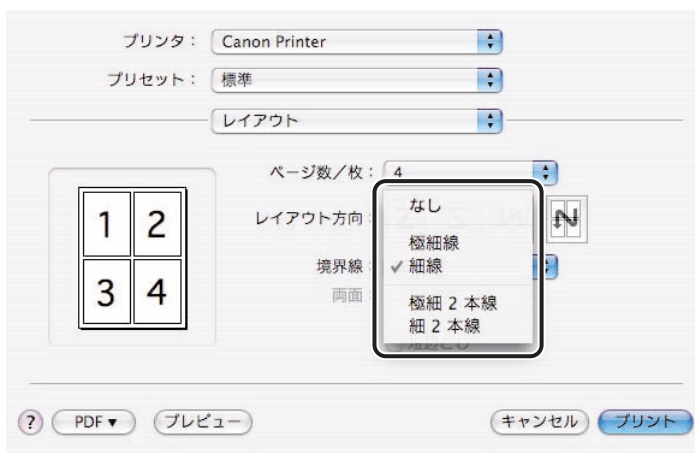
［プリント］ダイアログが表示されます。

2 **［プリント］ダイアログで、［レイアウト］パネルを選択します。**

［レイアウト］パネルが表示されます。

3 ［ページ数／枚］で、1 枚の用紙に何ページ分を印刷するかを選択します。

4 ［レイアウト方向］で、［ページ数／枚］で設定したページのレイアウトの方向を設定します。

メモ

［ページ数／枚］で 6 ページ、9 ページおよび 16 ページの割り付けは、イメージモードでのみ設定可能です。

5 イメージモードを使用しているときは、枠線の設定ができます。各ページに枠線をつける場合は、[境界線]（または［枠線]）を設定します。

6 ［プリント］をクリックします。

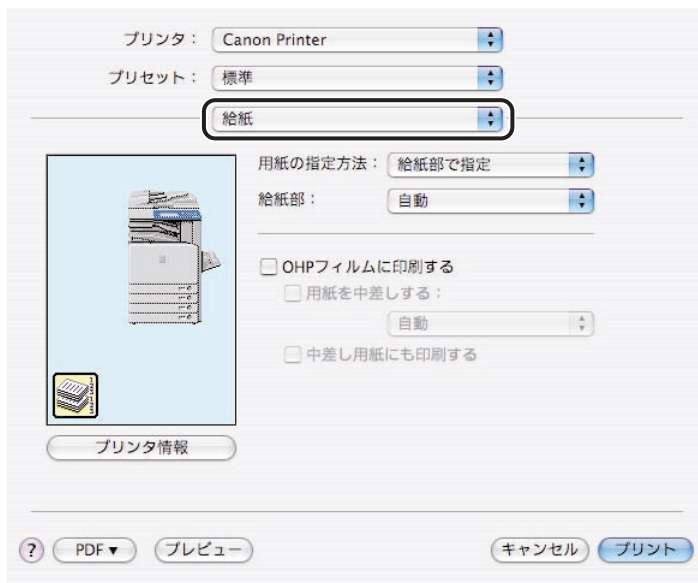
給紙部を指定する

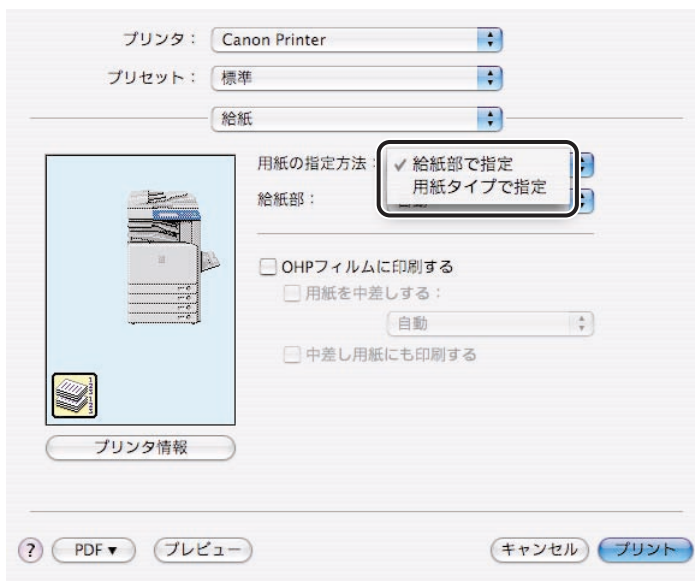
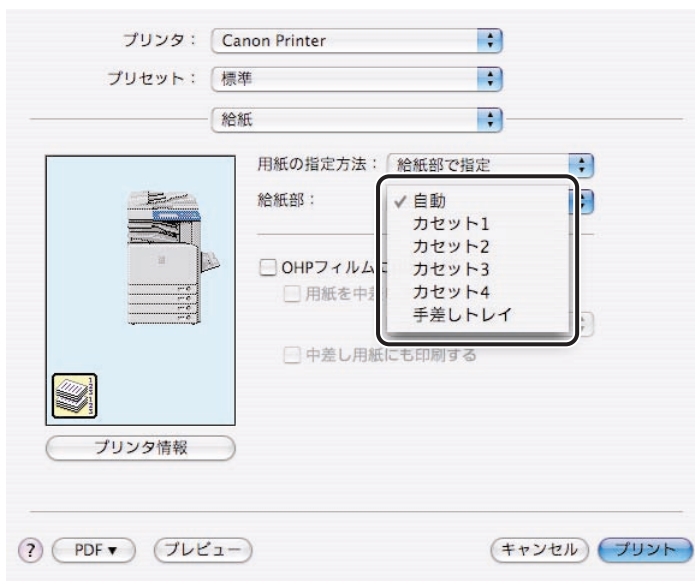
特定の給紙部を指定して印刷することができます。通常は、自動的に最適な給紙部から印刷を行います。

メモ　Mac OS X 用のプリンタドライバの画面を使用しています。

1 **アプリケーションソフトウェアの［ファイル］メニューから［プリント］を選択します。**

［プリント］ダイアログが表示されます。

2 **［プリント］ダイアログで、［給紙］パネルを選択します。**

［給紙］パネルが表示されます。

3 ［用紙の指定方法］で、印刷する用紙の指定方法（［給紙部で指定］／［用紙タイプで指定］のいずれか）を選択します。

4 ［給紙部］または［用紙タイプ］で、用紙を給紙する場所、または用紙の種類を選択します。

5 ［プリント］をクリックします。

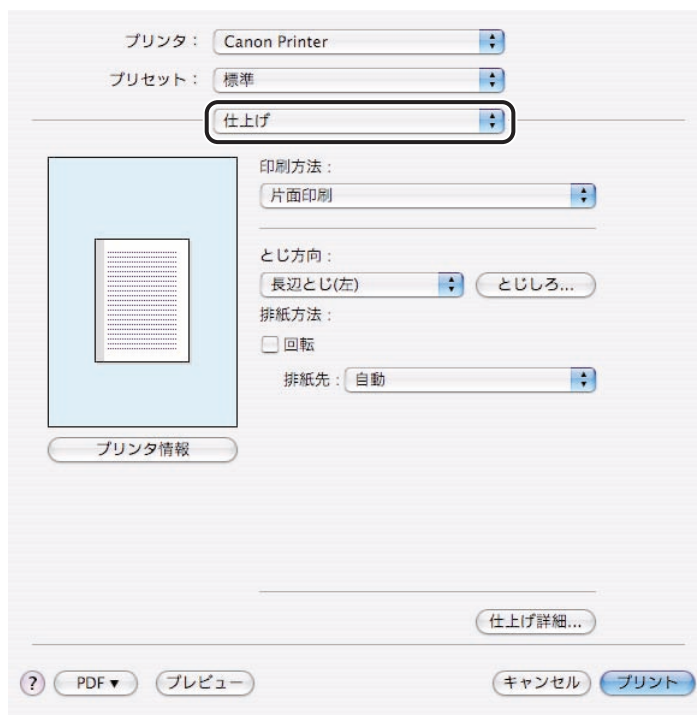
排紙先や排紙方法を指定する

お使いの機種によっては、排紙先を指定して印刷することができます。また、排紙方法（回転、シフト、ユーザセパレートなど）も指定できます。

メモ　Mac OS X 用のプリンタドライバの画面を使用しています。

1 **アプリケーションソフトウェアの［ファイル］メニューから［プリント］を選択します。**

［プリント］ダイアログが表示されます。

2 **［プリント］ダイアログで、［仕上げ］パネルを選択します。**

［仕上げ］パネルが表示されます。

3 特定の排紙先や排紙方法を選択します。

［仕上げ］パネルで、以下の項目も設定できます。お使いの機種や装着したオプションによって、設定できる項目は異なります。

- iR シリーズ（iR400 を除く）

［シフト］	出力紙を部単位ごとにずらした状態で排紙します。
［回転］	出力紙を部単位ごとに 90 度ずらして排紙します。
［排紙先］	排紙する場所を選択します。

- ステイプルスタッカ装着時（LBP-1910/950 のみ）

［排紙先］	排紙する場所を選択します。
［排紙方法］	排紙方法を選択します。
［指定なし］	通常の排紙を行います。
［ジョブオフセット］	部単位ごとに最初のページをずらして排紙します。
［フェースアップ］	印刷面を上にして排紙します。OHP フィルム／厚紙／ラベル紙に印刷するときは、［フェースアップ］を選択してください。

• 7 ビンソータ装着時（LBP-2360/2300/1910/950、CP 680 LIPS-C1/B1 のみ）

[排紙方法]	排紙方法を選択します。
[排紙先選択]	出力紙の排紙する場所を選択します。
[スタック]	最下段の 7 ビンから順に印刷します。ビンが満載になると、自動的に次のビンへと排紙されます。大量に印刷するときに便利な機能です。
[ユーザセパレート（自動）]	印刷ジョブを送信したユーザ名が自動的に使用していないビンに割り当てられ、同じユーザから送信されると、そのユーザ名のビンに排紙されます。印刷が終了すると、印刷文書名や排紙先などが表示されます。多くのユーザで使用するときに便利な機能です。
[ユーザセパレート（固定）]	あらかじめ登録したビン名称（初期状態はビン 1 から 7）を指定して、印刷出力します。印刷が終了すると、印刷文書名や排紙先などが表示されます。あらかじめ決まったグループなどで使用するときに便利な機能です。

4　［プリント］をクリックします。

用紙の両面に印刷する

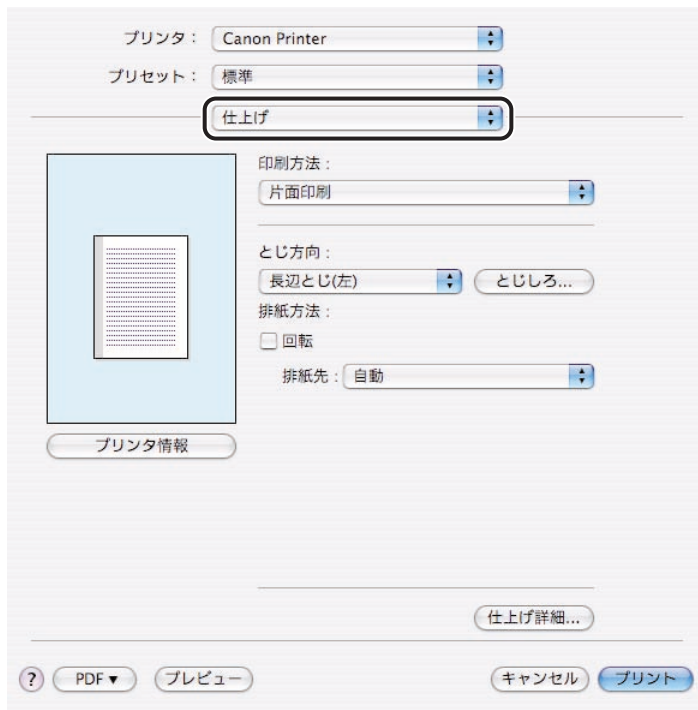
オプションの両面ユニットをプリンタにセットすると、2 ページ分の原稿を用紙の両面に印刷することができます。

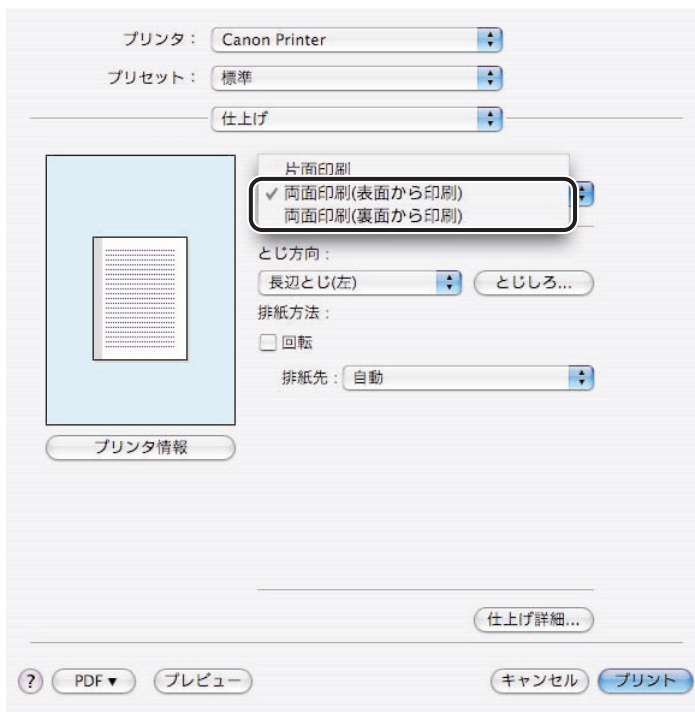
メモ

- 両面印刷は、オプションの両面ユニットを装着している場合に利用できます。（お使いの機種によっては、標準装備で両面印刷が可能です。iR2000/1600/1500、LBP-1710/1510/1420 では、両面ユニットは使用できません。）
- Mac OS X 用のプリンタドライバの画面を使用しています。

1 **アプリケーションソフトウェアの［ファイル］メニューから［プリント］を選択します。**

［プリント］ダイアログが表示されます。

2 **［プリント］ダイアログで、［仕上げ］パネルを選択します。**

［仕上げ］パネルが表示されます。

3 ［印刷方法］で、［両面印刷（表面から印刷)］、または［両面印刷（裏面から印刷)］を選択します。

メモ

［両面印刷］では、次の項目が選択できます。

・［両面印刷（表面から印刷)］：1 ページ目を用紙の表面に印刷します。

・［両面印刷（裏面から印刷)］：1 ページ目を用紙の裏面に印刷して、2 ページ目を次の用紙の表面に印刷します。

4 ［プリント］をクリックします。

とじしろをつけて印刷する

とじしろをつけて印刷することができます。

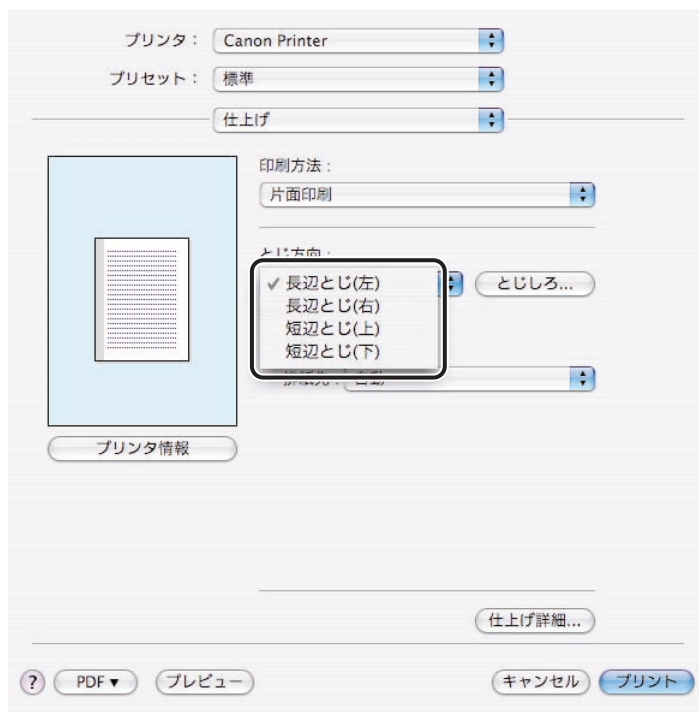
メモ　Mac OS X 用のプリンタドライバの画面を使用しています。

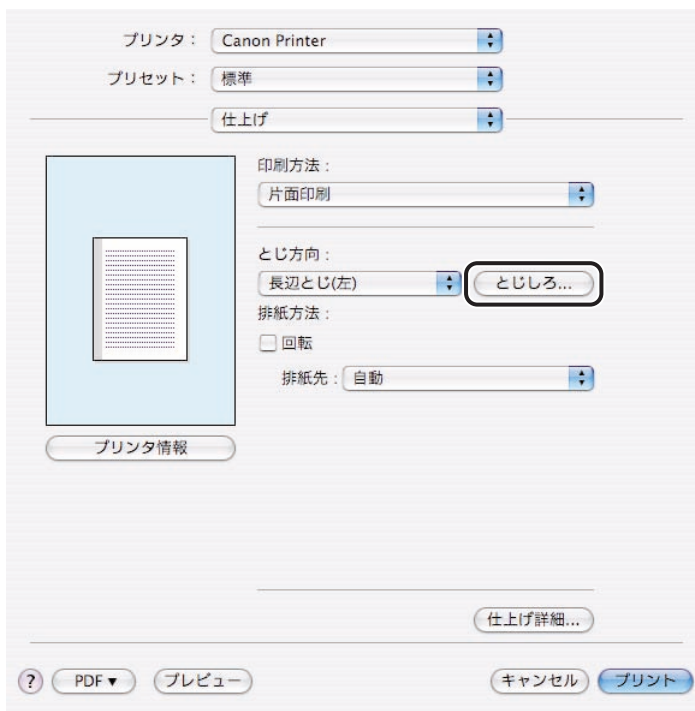
1 **アプリケーションソフトウェアの［ファイル］メニューから［プリント］を選択します。**

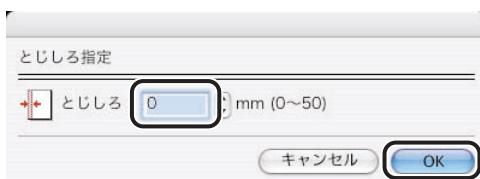
［プリント］ダイアログが表示されます。

2 **［プリント］ダイアログで、［仕上げ］パネルを選択します。**

［仕上げ］パネルが表示されます。

3 **［とじ方向］で、とじしろをつける方向を選択します。**

メモ　とじしろは、原稿の「左」「右」「上」「下」のうち 1 箇所に設定することができます。［とじ方向］を設定すると、設定位置を示すプレビューが表示されます。

4 ［とじしろ］をクリックします。

［とじしろ指定］ダイアログが表示されます。

5 とじしろの幅を選択したあと、［OK］をクリックします。

メモ　とじしろの幅は 1mm 単位で選択することができます。お使いの機種によって、選択できる数値は異なります。

6 ［プリント］をクリックします。

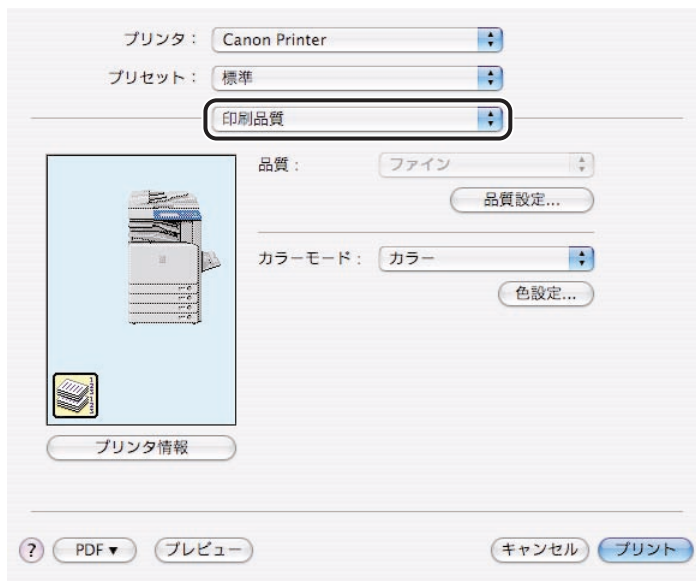
トナーを節約して印刷する

原稿の印刷濃度を薄くして、トナーを節約することができます。原稿を校正するときなどにご利用いただけます。

メモ　Mac OS X 用のプリンタドライバの画面を使用しています。

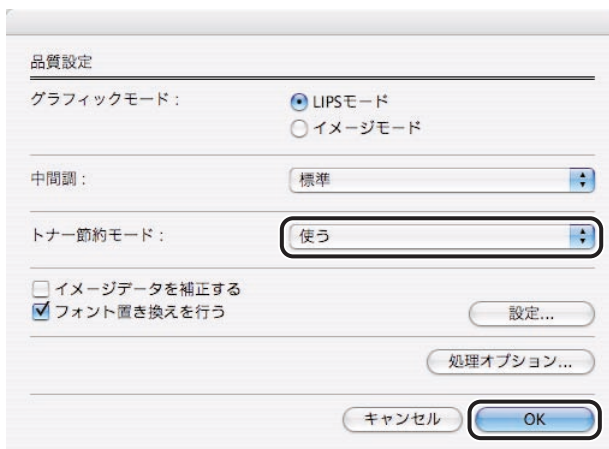
1 **アプリケーションソフトウェアの［ファイル］メニューから［プリント］を選択します。**

［プリント］ダイアログが表示されます。

2 **［プリント］ダイアログで、［印刷品質］パネルを選択します。**

［印刷品質］パネルが表示されます。

3 ［品質設定］をクリックします。

［品質設定］ダイアログが表示されます。

4 ［トナー節約モード］で［使う］を選択したあと、［OK］をクリックします。

メモ

一部の LBP シリーズをお使いの場合は、［トナー節約モード］の代わりに［ドラフトモード］が表示されます。トナーを節約して、薄く印刷を行う機能です。

5 ［プリント］をクリックします。

お気に入り（プリセット）を追加する

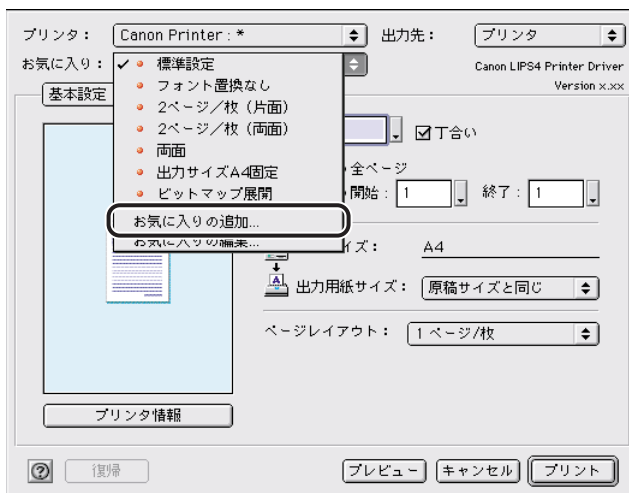
［プリント］ダイアログの各パネルで設定している項目を、「お気に入り」または「プリセット」としてあらかじめ登録できます。

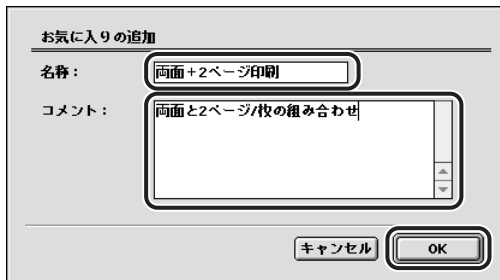
Mac OS 9 用プリンタドライバの場合

1 **アプリケーションソフトウェアの［ファイル］メニューから［プリント］を選択します。**

［プリント］ダイアログが表示されます。

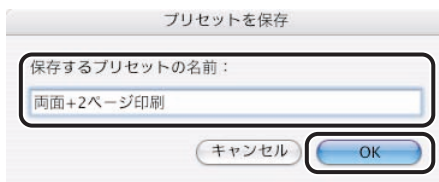
2 **［プリント］ダイアログの各パネルで「お気に入り」として登録したい項目を設定します。**

3 **［お気に入り］のポップアップメニューで［お気に入りの追加］を選択します。**

［お気に入りの追加］ダイアログが表示されます。

4 [名称]と[コメント]を入力したあと、[OK]をクリックします。

[お気に入り]に登録されます。

メモ
- 「お気に入り」を使って印刷するときは、[お気に入り]のポップアップメニューから使用したい項目を選択します。
- 「お気に入り」は、50個まで登録できます。

Mac OS X 用プリンタドライバの場合

1 アプリケーションソフトウェアの[ファイル]メニューから[プリント]を選択します。

[プリント]ダイアログが表示されます。

2 [プリセット]のポップアップメニューから[別名で保存]を選択します。

[プリセットを保存]ダイアログが表示されます。

3 ［保存するプリセットの名前］を入力したあと、［OK］をクリックします。

設定が保存されます。

メモ　設定した内容で印刷するときは、［プリセット］のポップアップメニューから使用したい項目を選択します。

4
CHAPTER

便利な印刷機能

LIPS プリンタドライバの便利な印刷機能について説明しています。

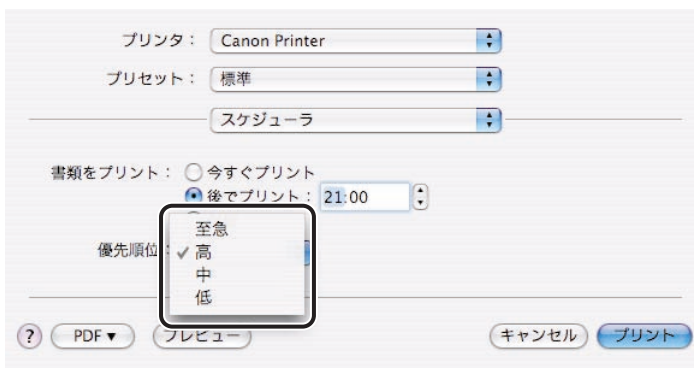
印刷のスケジュールを設定する（Mac OS X 10.3 以降のみ）

印刷する時間および印刷の優先順位を指定できます。

1 ［プリント］ダイアログの［スケジューラ］パネルを表示します。

2 ［書類をプリント］から、いつ印刷するかを選択します。

［後でプリント］を選択した場合は、印刷時刻を設定します。

3 印刷の優先順位を［至急］、［高］、［中］、［低］から選択します。

印刷ページの順番を変える（Mac OS X 10.3 以降のみ）

印刷ページの順番を変えることができます。

1 ［プリント］ダイアログの［用紙処理］パネルを表示します。

2 印刷するページの順序を選択します。

Mac OS X 10.4 以降をお使いの場合は、［ページの順序］からページの順序を選択します。

Mac OS X 10.2.8 ～ 10.3.9 をお使いの場合で、ページの順序を逆にして印刷したいときは、［ページの順序を逆にする］にチェックマークを付けます。

3 印刷するページを［すべてのページ］、［奇数ページ］、［偶数ページ］から選択します。

色フィルタを指定する（Mac OS X 10.3.9 ～ 10.4.x のみ）

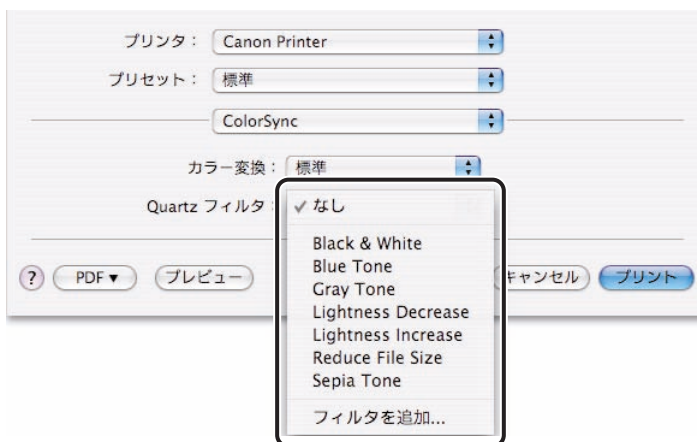
色フィルタを指定することができます。

1 ［プリント］ダイアログの［ColorSync］パネルを表示します。

2 ［カラー変換］で、［標準］を選択します。

メモ　本製品では［プリンタのカラー］を選択できません。

3 ［Quartz フィルタ］から設定したいフィルタを選択します。

4 便利な印刷機能

データを重ね合わせて印刷する（オーバレイ印字）

印刷データの各ページにフォームファイルを重ね合わせて印刷する、オーバレイ印字機能があります。オーバレイ印字では、あらかじめフォームファイルとして作成しておいたデータを、印刷原稿に重ね合わせて印刷します。これによって、印刷するたびに各ページに同じデータを送信する手間を省くことができます。例えば、報告書、給料明細書のフォーマットなどをフォームファイルとして作成しておけば、テキストデータを作成して印刷するだけで、フォームファイルと合成されたものが出力されます。

オーバレイ印字を行うには、以下の 2 段階の操作が必要となります。まず下地の原稿となるフォームファイルを作成します。このあとで、作成したフォームファイルを使ってオーバレイ印字を行います。

1. フォームファイルを作成する
2. 実際にオーバレイ印字を行う

メモ　お使いの機種によっては、フォームファイルをホスト（コンピュータ）側に登録するか、プリンタ側に登録するかを選択できます。ホスト側のみの登録となる機種もあります。

Mac OS 9 用プリンタドライバの場合

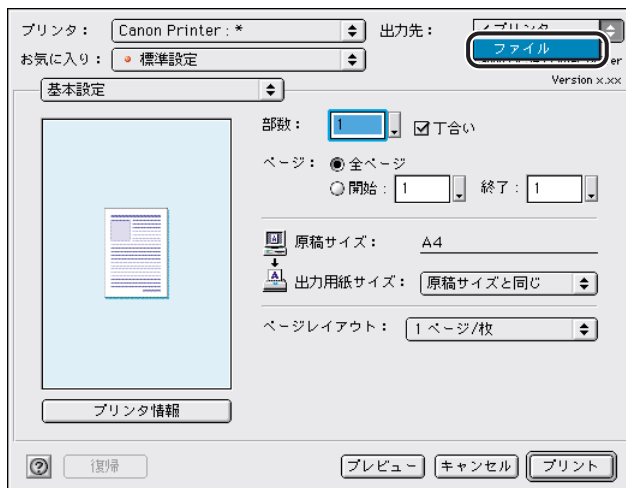
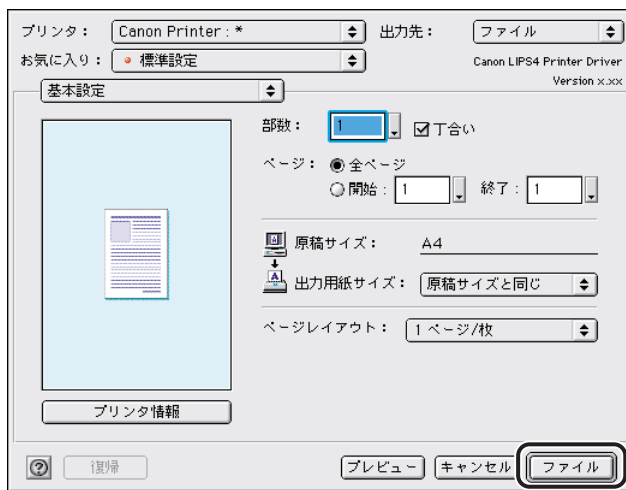
フォームファイルを作成する

■ホスト側に登録する場合（全機種）

1 **アプリケーションソフトウェアでフォームの原稿を作成します。**

2 **［ファイル］メニューから、［プリント］を選択します。**

［プリント］ダイアログが表示されます。

3 ［出力先］で［ファイル］を選択します。

4 ［ファイル］をクリックします。

［保存］ダイアログが表示されます。

5 フォームファイルの保存先と名称を入力します。

6 ［保存］ダイアログの［保存］をクリックします。

お使いのホスト（コンピュータ）にフォームファイルが作成されます。

■プリンタ側に登録する場合（一部の iR シリーズのみ）

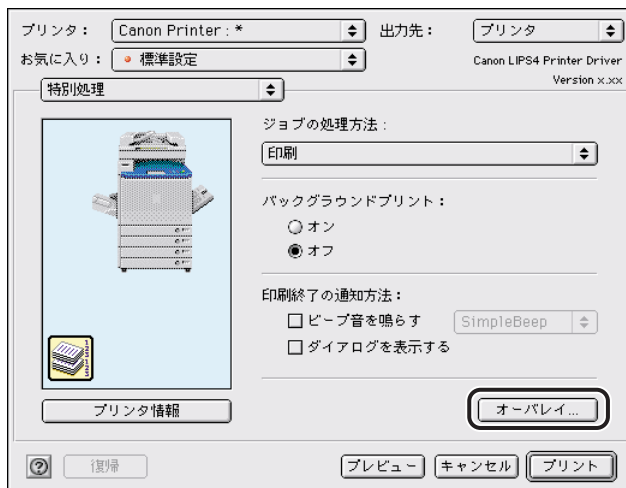
1 アプリケーションソフトウェアでフォームの原稿を作成します。

2 ［ファイル］メニューから、［プリント］を選択します。

［プリント］ダイアログが表示されます。

3 ［プリント］ダイアログで、［特別処理］パネルを選択します。

［特別処理］パネルが表示されます。

4 ［オーバレイ］をクリックします。

［オーバレイ］ダイアログが表示されます。

5 ［処理方法］で、［フォームファイルを作成する］を選択します。

6 [ファイル名] で、フォームファイルの名称を入力します。

7 [オーバレイ] ダイアログの [OK] をクリックします。

8 [プリント] をクリックします。

プリンタにフォームファイルが作成されます。

■実際にオーバレイ印字を行う

1 アプリケーションソフトウェア上で、印刷する原稿を表示します。

2 [ファイル] メニューから、[プリント] を選択します。

[プリント] ダイアログが表示されます。

3 [プリント] ダイアログで、[特別処理] パネルを選択します。

[特別処理] パネルが表示されます。

4 ［オーバレイ］をクリックします。

［オーバレイ］ダイアログが表示されます。

5 ［処理方法］で、［オーバレイ印字を行う］を選択します。

プリンタ側でフォーム登録可能な機種をお使いの場合は、右側のポップアップメニューから［ホスト側］または［プリンタ側］を選択します。

6 ［参照］をクリックして、フォームファイルを選択します。

プリンタ側でフォーム登録可能な機種でプリンタ側のフォームを使用する場合は、［ファイル一覧］から、使用するフォームを選択します。

7 プリンタ側で登録可能な機種をお使いの場合は、両面印刷を設定するときに、［オーバレイの適用］から、フォームの合成方法（［すべてのページ］／［裏面のみ］／［表面のみ］）を選択します。

8 ［オーバレイ］ダイアログの［OK］をクリックします。

9 ［プリント］をクリックします。

フォームと合成された印刷原稿が出力されます。

Mac OS X 用プリンタドライバの場合

フォームファイルを作成する

■ホスト側に登録する場合（Mac OS X 10.2.8 ～ 10.3.9）

1 **アプリケーションソフトウェアでフォームの原稿を作成します。**

2 **［ファイル］メニューから、［プリント］を選択します。**

［プリント］ダイアログが表示されます。

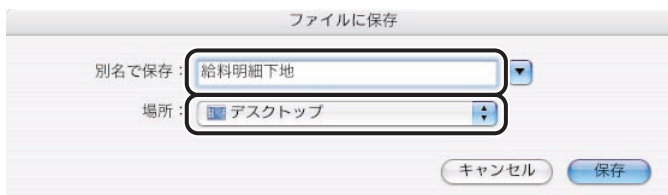
3 **［プリント］ダイアログで、［出力オプション］パネルを選択します。**

［出力オプション］パネルが表示されます。

4 **［ファイルとして保存］にチェックマークを付けて、［フォーマット］から［PDF］を選択します。**

5 **［保存］をクリックします。**

［ファイルに保存］ダイアログが表示されます。

6 ［ファイルに保存］ダイアログで、保存するファイル名と保存場所を設定します。

7 ［保存］をクリックします。

お使いのコンピュータ（ホスト）にフォームファイルが作成されます。

■ホスト側に登録する場合（Mac OS X 10.4 以降）

1 アプリケーションソフトウェアで、フォームの原稿を作成します。

2 ［ファイル］メニューから［プリント］を選択します。

［プリント］ダイアログが表示されます。

3 ［プリント］ダイアログで、［PDF］から［PDF として保存］を選択します。

［保存］ダイアログが表示されます。

4 ［保存］ダイアログで、保存するファイル名と保存する場所を設定します。

5 ［保存］をクリックします。

お使いのコンピュータ（ホスト）にフォームファイルが作成されます。

■プリンタ側に登録する場合（一部の iR シリーズのみ）

1 **アプリケーションソフトウェアでフォームの原稿を作成します。**

2 **［ファイル］メニューから、［プリント］を選択します。**

［プリント］ダイアログが表示されます。

3 **［プリント］ダイアログで、［特別処理］パネルを選択します。**

［特別処理］パネルが表示されます。

4 **［オーバレイ］をクリックします。**

［オーバレイ］ダイアログが表示されます。

4

便利な印刷機能

5 ［処理方法］で、［フォームファイルを作成する］を選択します。

6 ［ファイル名］で、フォームファイルの名称を入力します。

7 ［オーバレイ］ダイアログの［OK］をクリックします。

8 ［プリント］をクリックします。

プリンタにフォームファイルが作成されます。

実際にオーバレイ印字を行う

1 **アプリケーションソフトウェア上で、印刷する原稿を表示します。**

2 **［ファイル］メニューから、［プリント］を選択します。**

［プリント］ダイアログが表示されます。

3 **［プリント］ダイアログで、［特別処理］パネルを選択します。**

［特別処理］パネルが表示されます。

4 **［オーバレイ］をクリックします。**

［オーバレイ］ダイアログが表示されます。

5 ［処理方法］で、［オーバレイ印字を行う］を選択します。

プリンタ側でフォーム登録可能な機種をお使いの場合は、右側のポップアップメニューから［ホスト側］または［プリンタ側］を選択します。

6 ［参照］をクリックして、フォームファイルを選択します。

プリンタ側でフォーム登録可能な機種でプリンタ側のフォームを使用する場合は、［ファイル一覧］から、使用するフォームを選択します。

7 プリンタ側で登録可能な機種をお使いの場合は、両面印刷を設定するときに、［オーバレイの適用］から、フォームの合成方法（［すべてのページ］／［裏面のみ］／［表面のみ］）を選択します。

8 ［オーバレイ］ダイアログの［OK］をクリックします。

9 ［プリント］をクリックします。

フォームと合成された印刷原稿が出力されます。

ステイプルして印刷する

印刷した用紙をステイプルして出力します。たとえば、この機能を利用して 1 ～ 3 ページまでを 2 部印刷すると、1 ～ 3 ページを順に印刷した後に、さらに続けて 1 ～ 3 ページが印刷されます。このような順番で指定した回数分だけ印刷され、同時にステイプルされます。

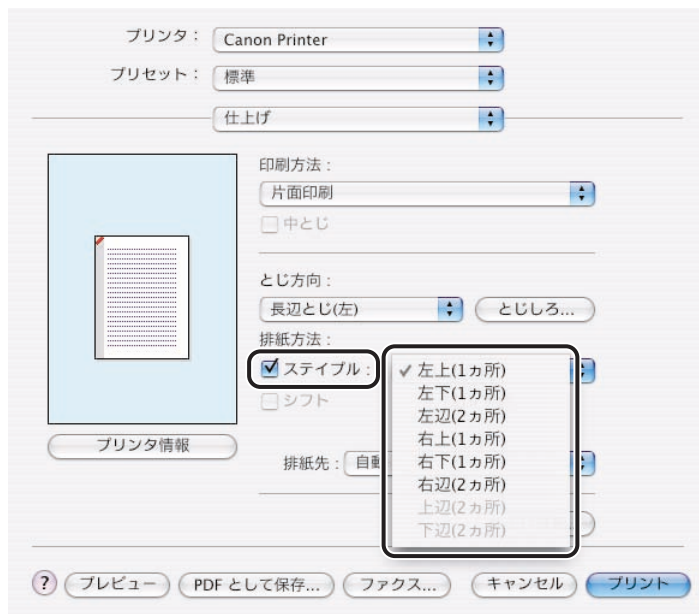
メモ　Mac OS X 用のプリンタドライバの画面を使用しています。

1 **アプリケーションソフトウェアの［ファイル］メニューから［プリント］を選択します。**

［プリント］ダイアログが表示されます。

2 **［プリント］ダイアログで、［仕上げ］パネルを選択します。**

［仕上げ］パネルが表示されます。

3 **［ステイプル］にチェックマークを付けたあと、ステイプルの位置を選択します。**

4 ［プリント］をクリックします。

製本印刷する（小冊子）

1 枚の用紙の両面に、それぞれ 2 ページずつ印刷して、まとめて 2 つ折りにすることで、そのまま本のように 1 ページ目から順序どおりにとじることができます。例えば、全部で 12 ページの文書を製本印刷すると、1 枚の用紙に両面印刷され、合計 3 枚の用紙に出力されます。製本印刷では、ページ番号が順番どおり並ぶように印刷順序が調整されるため、出力された用紙 3 枚をまとめて 2 つ折りにしてとじるだけで、本を作ることができます。

メモ

- iR シリーズ（iR C6800/C5800/C3220/C3200/C3100/C2620、iR3250/2000/1600/1500 を除く）または GP405 をお使いのときに、本機能を使用できます。
- Mac OS X 用のプリンタドライバの画面を使用しています。

1 **アプリケーションソフトウェアの［ファイル］メニューから［プリント］を選択します。**

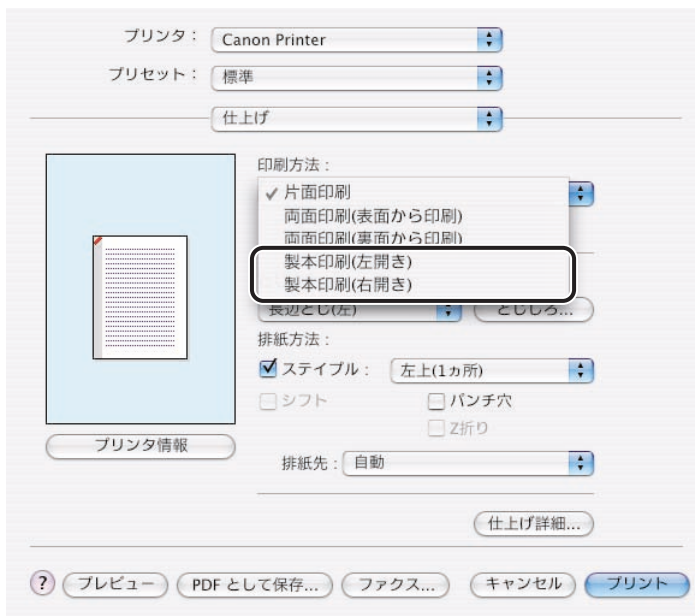
［プリント］ダイアログが表示されます。

2 **［プリント］ダイアログで、［仕上げ］パネルを選択します。**

［仕上げ］パネルが表示されます。

3 ［印刷方法］で、製本方法を選択します。

4 製本に関する設定を行います。

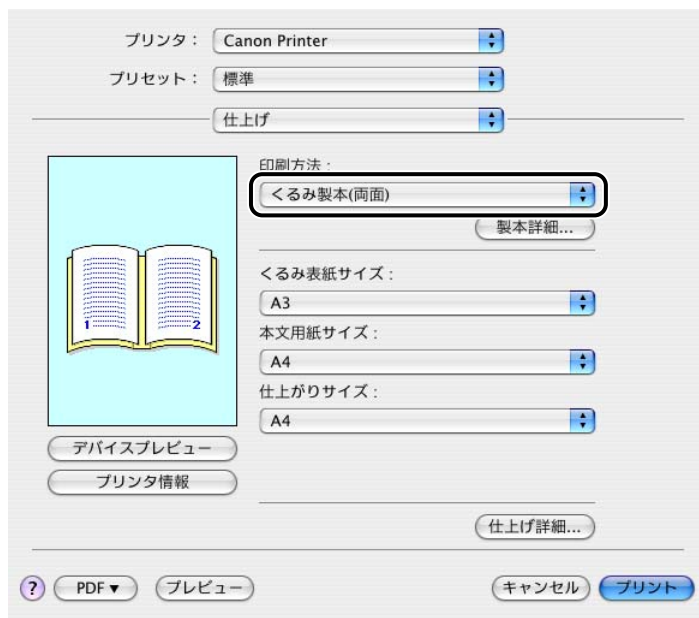
メモ

製本印刷時には、以下の項目を設定できます。
お使いの機種や装着したオプションによって、設定できる項目は異なります。

［中とじ］	製本印刷時に中とじをする場合に選択します。
［トリマーを使って用紙を断裁する］	中とじ印刷時、用紙がずれて出力される場合があります。このような場合に、用紙の端を断裁し、整えて出力します。［断裁幅の調整］で調整方法を選択します。
［製本詳細］	開き方向とクリープ（ずれ）補正を設定します。

5 ［プリント］をクリックします。

製本印刷する（くるみ製本）

通常の製本印刷の他に、くるみ製本を行うことができます。
くるみ製本とは、本文ページのとじしろに糊付けをして、それを表紙でくるむことによって製本を行う機能です。

メモ　本機能は、くるみ製本に対応したオプションを装着した場合のみ、使用することができます。

1 **アプリケーションソフトウェアの［ファイル］メニューから［プリント］を選択します。**

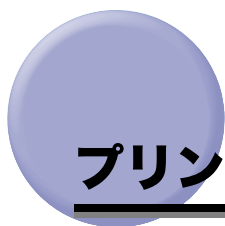
［プリント］ダイアログが表示されます。

2 **［プリント］ダイアログで、［仕上げ］パネルを選択します。**

［仕上げ］パネルが表示されます。

3 **［印刷方法］で［くるみ製本（両面)］を選択します。**

4 **表紙の用紙サイズと本文の用紙サイズ、仕上がりサイズを設定します。**

5 **［プリント］をクリックします。**

プリンタのフォントに置き換えて印刷する

文字原稿には、フォントが指定されています。ここで指定されているフォントは、Macintosh本体に組み込まれているフォントです。印刷するとき、このフォントをプリンタに内蔵のフォントに置き換えると、印刷速度が速くなり、文字もきれいに印刷されます。

メモ
- LBP5700/2710/1510/1420をお使いの場合は、プリンタフォントは搭載できないため、この機能は使用できません。
- LBP5500/2510/2050をお使いの場合は、オプションのプリンタフォントを搭載しているときのみ、この機能を使用できます。標準の状態では、プリンタフォントは搭載していません。
- ［印刷品質］－［品質設定］－［グラフィックモード］を［イメージモード］に設定している場合、この機能は使用できません。
- フォント置き換えを設定すると、画面上に表示されている文字は、そのまま印刷する（WYSIWYG）ことはできません。
- Mac OS X用のプリンタドライバの画面を使用しています。

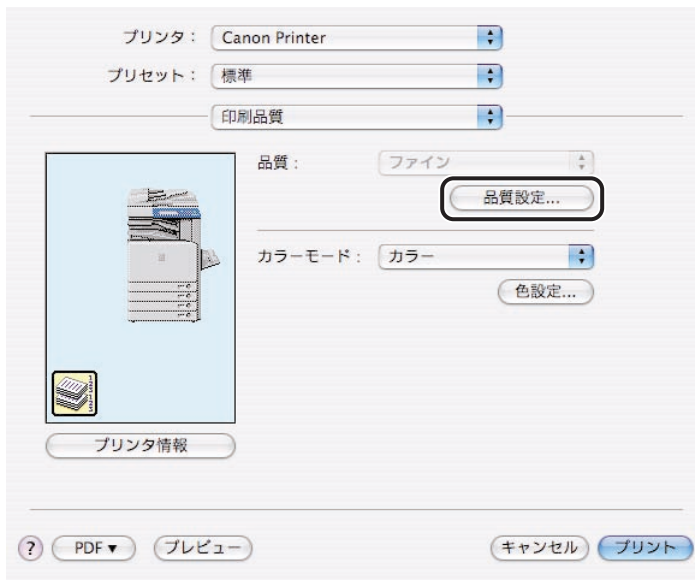
4

便利な印刷機能

フォント置き換えを設定する

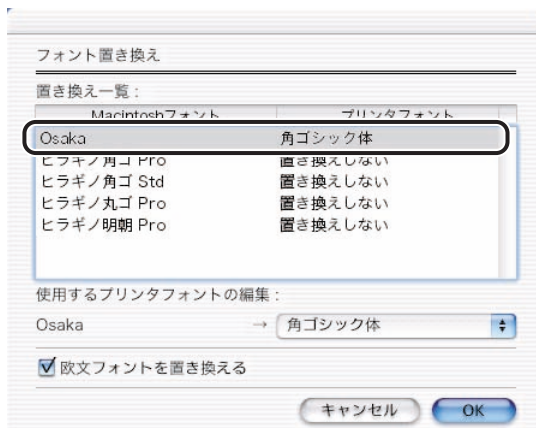
1 ［プリント］ダイアログで［印刷品質］パネルを選択します。

［印刷品質］パネルが表示されます。

2 ［品質設定］をクリックします。

［品質設定］ダイアログが表示されます。

3 ［フォント置き換えを行う］にチェックマークを付けたあと、［設定］をクリックします。

［フォント置き換え］ダイアログが表示されます。

4 ［置き換え一覧］から、置き換えるフォントを選択します。

Macintosh 側のどのフォントを置き換えたいかを設定します。

5 ［使用するプリンタフォントの編集］のポップアップメニューから、置き換え先のフォントを選択します。

プリンタ側のどのフォントに置き換えたいかを設定します。

［置き換え一覧］に設定したフォントが表示されます。

6 さらに置き換えるフォントを指定する場合は、手順４～５を繰り返します。

メモ

- オプションの日本語フォントも、フォント置き換えをすることができます。
- フォント置き換えを指定できるのは、2バイトコードの日本語フォントのみです。欧文フォントは、置き換えできるフォントがあらかじめ決まっています。

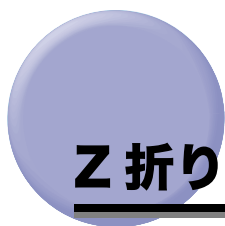
7 ［フォント置き換え］ダイアログの［OK］をクリックします。

8 ［品質設定］ダイアログの［OK］をクリックします。

9 ［プリント］をクリックします。

印刷が開始されます。

メモ

TypeWing機能は、フォントを高速に印刷する機能です。フォント置き換えが設定されている場合、フォント置き換えが設定されていないフォントに対しては、TypeWing機能が有効になります。フォント置き換えが設定されていない場合は、すべてのフォントに対してTypeWing機能が有効になります。TypeWing機能を使用するには、［印刷品質］パネルにある［品質設定］－［処理オプション］－［TypeWing機能を使う］にチェックマークを付けてください。

Z 折り、パンチ穴などの仕上げ印刷を行う

［仕上げ］パネルで、Z 折りやパンチ穴など、出力紙の仕上げに関する設定を行います。

メモ　Mac OS X 用のプリンタドライバの画面を使用しています。

1 **アプリケーションソフトウェアの［ファイル］メニューから［プリント］を選択します。**

［プリント］ダイアログが表示されます。

2 **［プリント］ダイアログで、［仕上げ］パネルを選択します。**

［仕上げ］パネルが表示されます。

3 **仕上げに関する設定を行います。**

メモ

- ［仕上げ］パネルで、以下の項目を設定できます。お使いの機種や装着したオプションによって、設定できる項目は異なります。

［印刷方法］	片面印刷、両面印刷、製本印刷、くるみ製本を選択します。
［中とじ］	製本印刷時に中とじをする場合に選択します。
［トリマーを使って用紙を断裁する］	中とじ印刷時、用紙がずれて出力される場合があります。このような場合に、用紙の端を断裁し、整えて出力します。［断裁幅の調整］で調整方法を選択します。
［とじ方向］	とじしろをつける方向を選択します。
［とじしろ］	とじしろの幅を設定します。
［ステイプル］	出力紙をステイプルで止めるときに設定します。
［C 折り］	出力紙を C 折り（内側に三つ折り）するときに設定します。
［パンチ穴］	出力紙にパンチ穴を開けるときに設定します。
［Z 折り］	出力紙を Z 折りするときに設定します。
［シフト単位］	指定した部数ごとに出力紙をずらした状態で排紙します。

- お使いの機種によっては、［排紙方法詳細］をクリックして表示する［排紙方法詳細］ダイアログで排紙方法を設定します。

4 **［プリント］をクリックします。**

印刷データをプリンタに保存する

印刷データをプリンタ本体のハードディスクやボックスに保存することができます。保存したデータは、リモート UI やプリンタ本体のパネルから、通常の出力を行えます。

メモ

- LBP5910/5910M/5900/5800/5400/2810/2360/1910/1810/1710/950、CP680 LIPS-C1/B1 や iR2000/1600/1500 でハードディスクを装着したとき、GP405 で拡張メモリを装着したとき、または iR シリーズの標準状態のときに、本機能を使用できます。
- 保存したデータの出力方法は、お使いの機種により異なります。
  - ・LBP シリーズ、CP680 LIPS-C1：リモート UI から出力
  - ・iR シリーズ、GP シリーズ：プリンタ本体、またはリモート UI から出力
  - ・LBP-950/CP680 LIPS-B1：プリントモニタから出力
- Mac OS X 用のプリンタドライバの画面を使用しています。

4

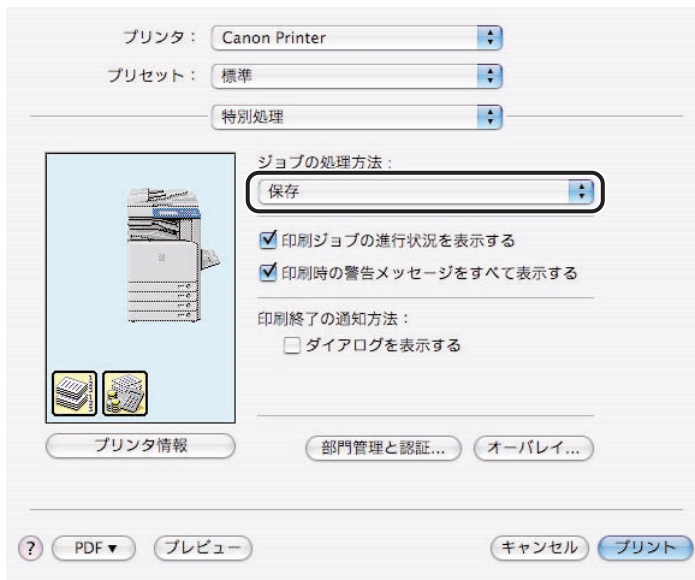
便利な印刷機能

1 アプリケーションソフトウェアの［ファイル］メニューから［プリント］を選択します。

［プリント］ダイアログが表示されます。

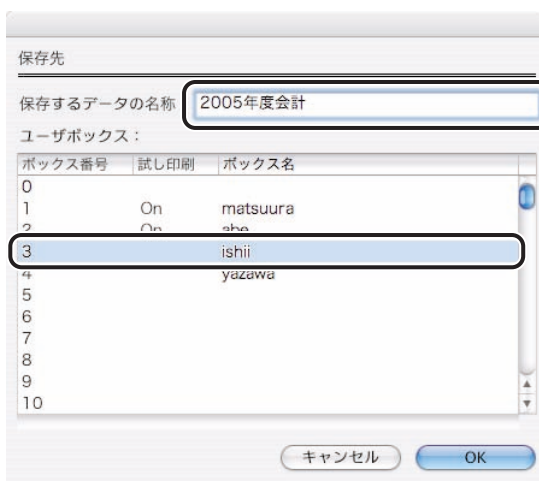
2 ［プリント］ダイアログの［特別処理］パネルを選択します。

［特別処理］パネルが表示されます。

3 ［ジョブの処理方法］で、［保存］を選択します。

4 ［プリント］をクリックします。

［保存先］ダイアログが表示されます。

5 ［保存するデータの名称］に保存するデータ名を入力して、保存先のボックスを選択します。

4

便利な印刷機能

メモ

- shiftキーもしくはcommandキーを押しながら選択することによって、複数のボックスを選択することができます。（iR3220/3200/2000/1600 を除く iR シリーズ、iPR シリーズをお使いの場合のみ）
- 試し印刷に対応した機種をお使いの場合、［試し印刷］に［On］と表示されたボックスを選択すると、保存と同時に印刷データが 1 部印刷されます。

6 ［保存先］ダイアログの［OK］をクリックします。

表紙／裏表紙を付けて印刷する

表紙と裏表紙を付けて印刷を行うことができます。また、表紙と裏表紙の印刷面をそれぞれ設定することができます。
お使いのプリンタおよび、プリンタの機能バージョンによっては、本機能は使用できません。

1 **アプリケーションソフトウェアの［ファイル］メニューから［プリント］を選択します。**

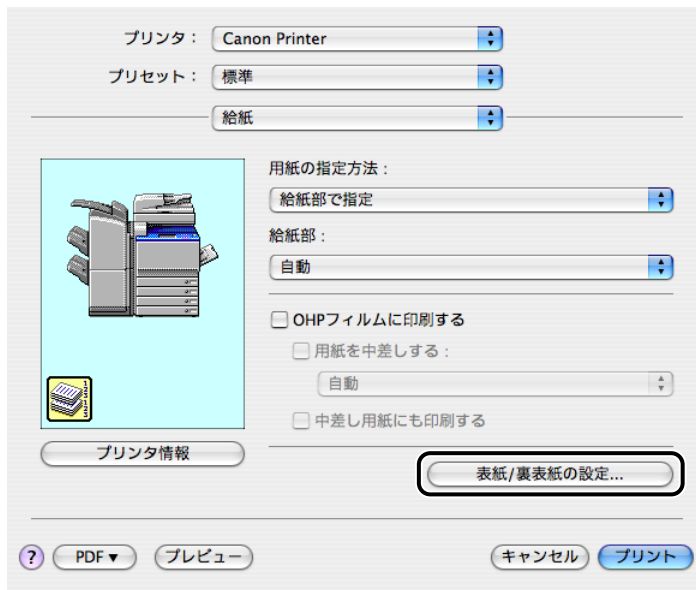
［プリント］ダイアログが表示されます。

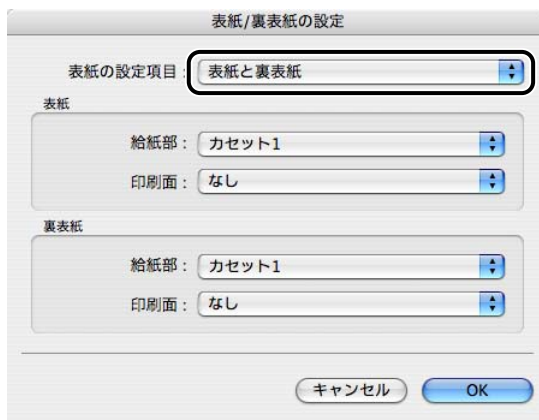
2 **［プリンタ］から印刷するプリンタ名を選択します。**

3 **［給紙］パネルを選択します。**

［給紙］パネルが表示されます。

4 **［給紙部］から本文ページの給紙部を選択します。**

5 [表紙 / 裏表紙の設定] をクリックします。

[表紙 / 裏表紙の設定] ダイアログが表示されます。

6 [表紙の設定項目] から [なし] ／ [表紙のみ] ／ [裏表紙のみ] ／ [表紙と裏表紙] のいずれかを選択します。

メモ　[なし] を選択すると、表紙および裏表紙の設定を行いません。

7 [印刷面] で表紙および裏表紙への印刷面を選択します。

8 ［給紙部］で表紙および裏表紙の給紙部を選択します。

9 ［OK］をクリックします。

10 ［プリント］をクリックします。

セキュアプリントを実行する

印刷データにユーザ名とパスワード（暗証番号）を付加して、プリンタに保存します。印刷するときは、プリンタ本体のパネル、またはリモート UI からパスワードを入力して印刷します。
機密書類など、誰にも見られたくない書類を印刷するときに便利な機能です。

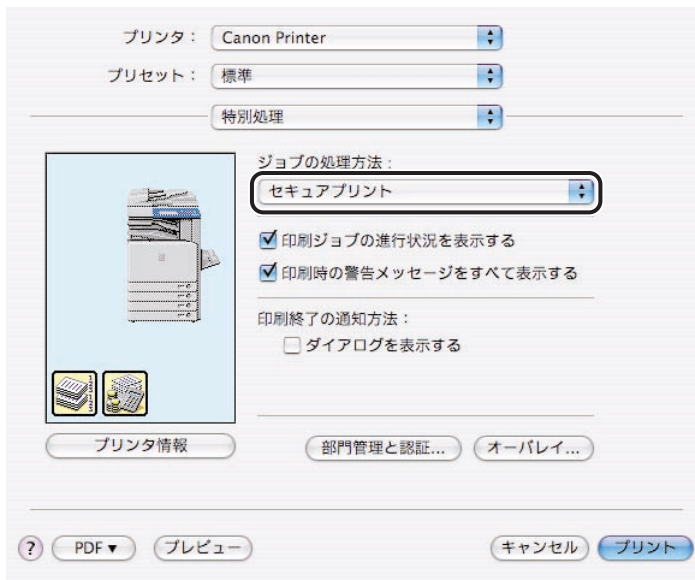
メモ
- LBP5910/5910M/5900/5800/5400/2810/2360/1910/1810/1710、CP680 LIPS-C1 や iR2000/1600/1500 でハードディスクを装着したとき、または iR シリーズの標準状態のときに、本機能を使用できます。（iR400 のみオプションの装着が必要です。）
- Mac OS X 用のプリンタドライバの画面を使用しています。

1 アプリケーションソフトウェアの［ファイル］メニューから［プリント］を選択します。

［プリント］ダイアログが表示されます。

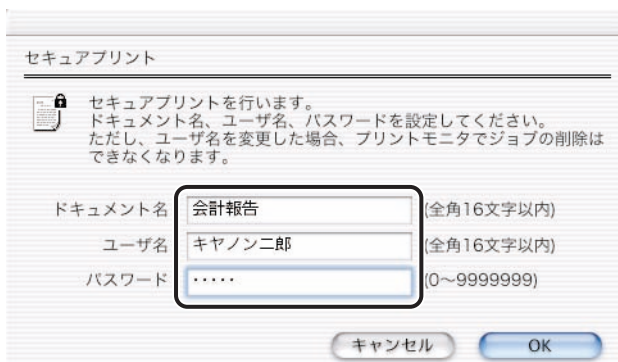
2 ［プリント］ダイアログの［特別処理］パネルを選択します。

［特別処理］パネルが表示されます。

3 ［ジョブの処理方法］で、［セキュアプリント］を選択します。

4 ［プリント］をクリックします。

［セキュアプリント］ダイアログが表示されます。

5 ［セキュアプリント］ダイアログで、［ドキュメント名］、［ユーザ名］、［パスワード］を入力します。

4

便利な印刷機能

メモ

- ［ドキュメント名］および［ユーザ名］は、お使いの機種によって、入力できる文字数が異なります。
  - ・LBP シリーズ、CP シリーズ、iR2000/1600/1500：半角 15 文字以内
  - ・iR シリーズ（iR2000/1600/1500 を除く）：全角 16 文字、または半角 32 文字以内
- ［パスワード］には、LBP/CP/iR シリーズともに 7 文字以内の半角数字（0 ～ 9999999）を入力してください。

6 ［セキュアプリント］ダイアログの［OK］をクリックします。

部門管理を行う

社内や部門内で、プリンタの印刷枚数などの情報を管理することができます。印刷枚数の集計管理、部門ごとへのプリンタの費用の割り振りなどにご利用できます。部門管理印刷を行うには、あらかじめプリンタ本体で ID とパスワード（暗証番号）の登録が必要です。

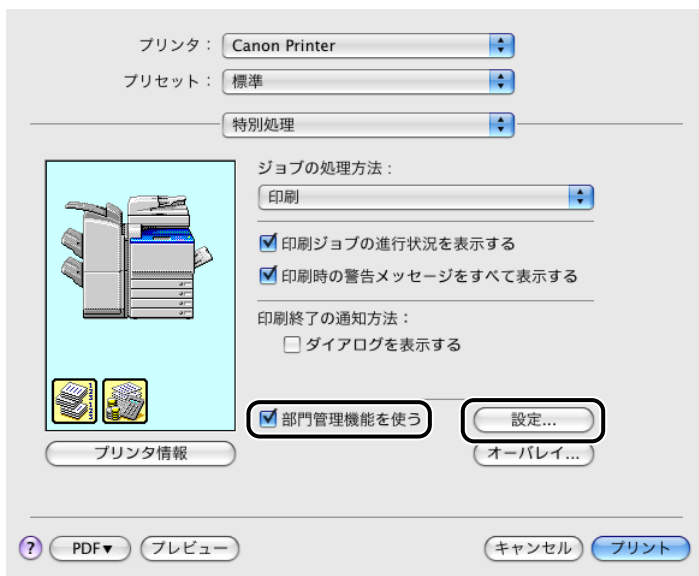
メモ
- iR シリーズ（iR400 を除く）をお使いのときに、本機能を使用できます。
- Mac OS X 用のプリンタドライバの画面を使用しています。

1 **アプリケーションソフトウェアの［ファイル］メニューから［プリント］を選択します。**

［プリント］ダイアログが表示されます。

2 **［プリント］ダイアログで、［特別処理］パネルを選択します。**

［特別処理］パネルが表示されます。

3 **［部門管理機能を使う］にチェックマークを付け、［設定］をクリックします。**

［ID/ パスワードの設定］ダイアログが表示されます。

4 ［ID/ パスワードの設定］ダイアログで、［ID］、［パスワード］などの設定を行います。

メモ

- ［照会］をクリックすると、プリンタで登録されている［ID］と［パスワード］の確認を行えます。
- ［ID］には、プリンタ本体で登録している半角英数字（0 ～ 9、a ～ z、A ～ Z）を 8 文字以内で入力してください。
- ［パスワード］には、プリンタ本体で登録した 7 文字以内の半角数字（0-9999999）を入力するか、または入力を省略してください。
- カラープリンタ（iR C3200/C3100 または LBP シリーズを除く）で部門管理機能を使用中にモノクロ印刷を行う場合、［モノクロ指定時は部門管理を行わない］にチェックマークを付けると、そのドキュメントは部門管理されずに出力されます。本機能をお使いの場合は、プリンタ本体のパネルの［白黒プリンタジョブの許可］を ON にします。

5 ［ID/ パスワードの設定］ダイアログで、［OK］をクリックします。

6 ［特別処理］パネルの［プリント］をクリックします。

ホールドキューに印刷ジョブを一時的に保管する

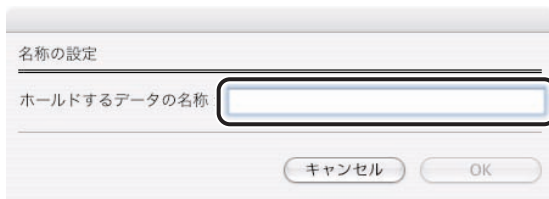
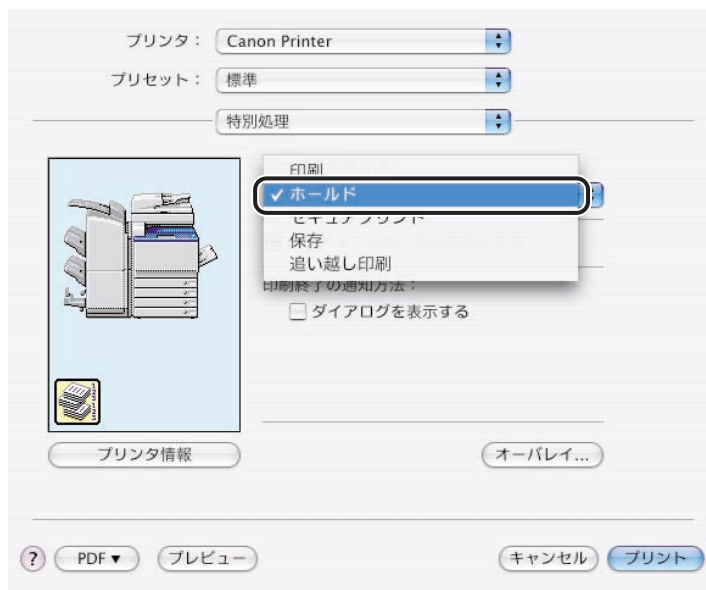
印刷ジョブをプリンタ本体の特殊なボックス（ホールドキュー）に一時的に保管することができます。ホールドキュー内の印刷ジョブはプリントする順番をオペレータが調整したり、設定を変更することができます。ホールド状態の印刷ジョブは出力を指示するとプリントされます。

メモ　一部の iR シリーズのみ、本機能を使用できます。

1 **アプリケーションソフトウェアの［ファイル］メニューから［プリント］を選択します。**

［プリント］ダイアログが表示されます。

2 **［プリント］ダイアログの［特別処理］パネルを選択します。**

［特別処理］パネルが表示されます。

3 **［ジョブの処理方法］で、［ホールド］を選択します。**

4 ［プリント］をクリックします。

［名称の設定］ダイアログが表示されます。

5 ［名称の設定］ダイアログで、［ホールドするデータの名称］を入力します。

6 ［名称の設定］ダイアログの［OK］をクリックします。

印刷データをファイル化する（Mac OS 9 用プリンタドライバのみ）

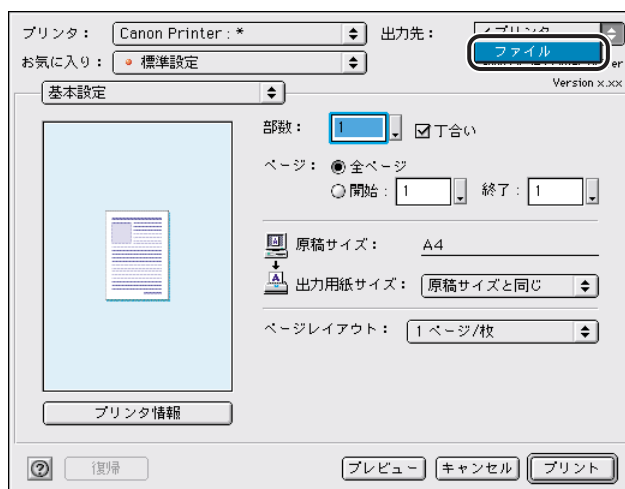
原稿をプリンタから印刷する代わりに、印刷データとしてファイルに保存することができます。

ファイルに出力する

1 **アプリケーションソフトウェアで、印刷データのファイルとして保存したい原稿を開きます。**

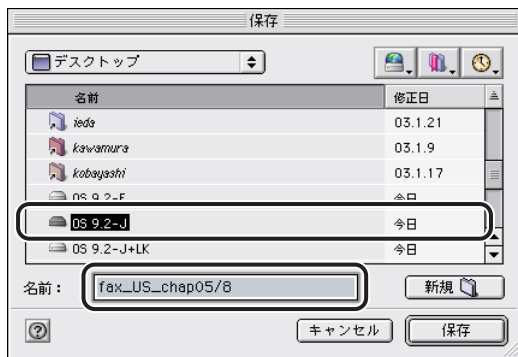
2 **［ファイル］メニューから［プリント］を選択します。**

［プリント］ダイアログが表示されます。

3 **［出力先］のポップアップメニューから、［ファイル］を選択します。**

ボタンの表示が［プリント］から［ファイル］に切り替わります。

4 **［ファイル］をクリックします。**

［保存］ダイアログが表示されます。

5 ファイルの保存場所を指定して、ファイル名を入力します。

メモ　ファイル名には、全角で最大 15 文字、半角で最大 31 文字入力できます。

6 ［保存］をクリックします。

ファイルに出力されます。

出力ファイルを印刷する

印刷データとして保存したファイルは、次の手順で印刷することができます。

1 お使いのハードディスク内の［LIPS Printer エクストラ］フォルダを開きます。

2 印刷するファイルのアイコンを、［LIPS Printmonitor］アイコンにドラッグ＆ドロップします。

プリントモニタのタイトルが表示されたあと、［プリント］ダイアログが表示されます。

3 ［プリント］をクリックします。

メモ　プリントモニタの起動中も、上記の手順でファイルを印刷できます。

原稿を PDF ファイルとして保存する（Mac OS X 用プリンタドライバのみ）

原稿をプリンタから印刷する代わりに、PDF 形式のファイルとして保存することができます。

Mac OS X 10.2.8 ～ 10.3.9 の場合

メモ　Mac OS X 10.2.8 ～ 10.3.9 をお使いの場合は、［プリント］ダイアログの［PDF として保存］でも、原稿を PDF として保存することができます。

1 **アプリケーションソフトウェアで、PDF ファイルとして保存したい原稿を開きます。**

2 **［プリント］ダイアログで、［出力オプション］パネルを選択します。**

［出力オプション］パネルが表示されます。

3 **［ファイルとして保存］にチェックマークを付けます。**

4

便利な印刷機能

4 ［保存］をクリックします。

［ファイルに保存］ダイアログが表示されます。

4

便利な印刷機能

5 ［ファイルに保存］ダイアログで、保存するファイル名と保存場所を設定します。

6 ［保存］をクリックします。

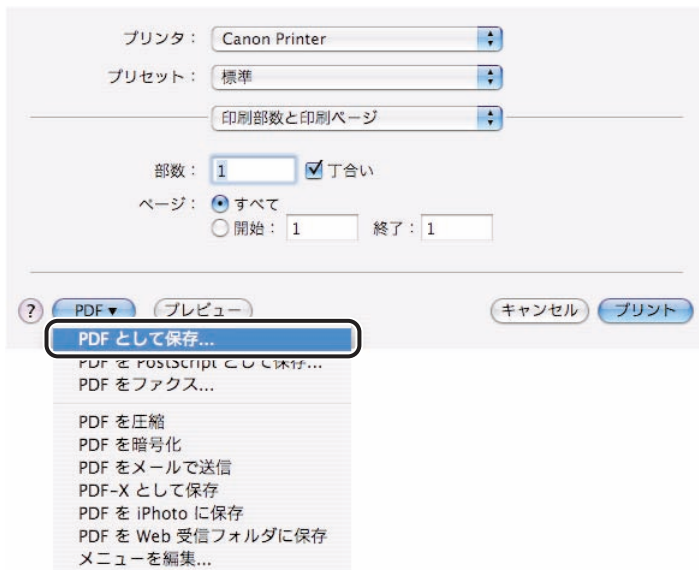
指定したフォーマットでファイルが作成されます。

Mac OS X 10.4 以降の場合

1 アプリケーションソフトウェアで、PDF ファイルとして保存したい原稿を開きます。

2 ［ファイル］メニューから［プリント］を選択します。

［プリント］ダイアログが表示されます。

3 ［プリント］ダイアログで、［PDF］から［PDF として保存］を選択します。

［保存］ダイアログが表示されます。

4 ［保存］ダイアログで、保存するファイル名と保存する場所を設定します。

5 ［保存］をクリックします。

PDF ファイルが作成されます。

プリントモニタを利用する

プリントモニタは、プリンタと連動して動作するアプリケーションソフトウェアです。プリントモニタを使用すると、用紙切れやオフラインなどのプリンタ状態をコンピュータ上で確認することができます。

プリントモニタを起動する

プリントモニタは、次の手順で起動します。

Mac OS 9 の場合

1 **お使いのハードディスク内の［LIPS Printer エクストラ］フォルダを開きます。**

2 **［LIPS Printmonitor］アイコンをダブルクリックします。**

［プリントモニタ］ウィンドウが表示されます。

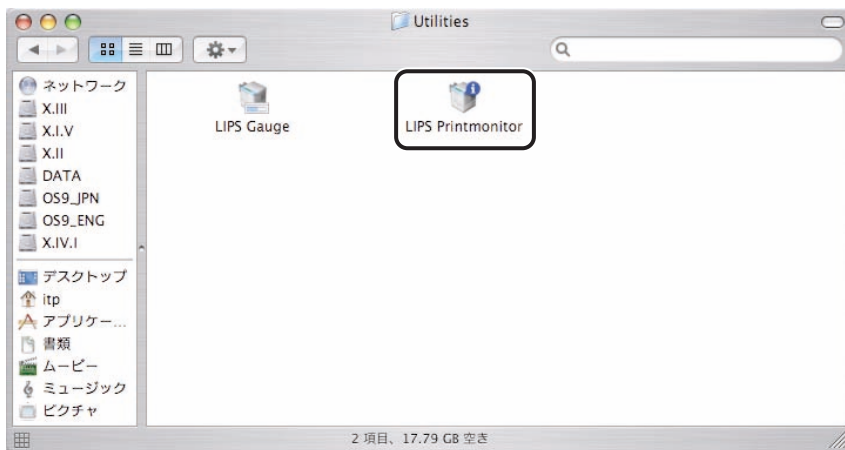
メモ

- デスクトップにプリントモニタのエイリアスを作成しておくと、エイリアスをダブルクリックするだけでプリントモニタを起動することができて便利です。
- 印刷をキャンセルすると、処理が一時停止します。このとき、データはプリンタに残ります。このデータを印刷するには、次の操作を行います。

  1. プリンタの操作パネルで、プリンタをリセットします。
  2. プリントモニタの［ファイル］メニューから、［プリントキュー再開］を選択します。

Mac OS X の場合

1 **お使いのハードディスクの［ライブラリ］－［Printers］－［Canon］－［LIPS2］－［Utilities］を開きます。**

2 ［LIPS Printmonitor］アイコンをダブルクリックします。

［プリントモニタ］ウィンドウが表示されます。

メモ

- デスクトップにプリントモニタのエイリアスを作成しておくと、エイリアスをダブルクリックするだけでプリントモニタを起動することができて便利です。
- ［プリンタリスト］ダイアログまたは［システム環境設定］から、プリントモニタを起動することができます。
  - Mac OS X 10.2.8 をお使いのときは、プリントセンターの［プリンタリスト］ダイアログでプリンタを選択して［設定］をクリックします。
  - Mac OS X 10.3.x をお使いのときは、プリンタ設定ユーティリティの［プリンタリスト］ダイアログでプリンタを選択して［ユーティリティ］をクリックします。
  - Mac OS X 10.4.x をお使いのときは、［システム環境設定］－［プリントとファクス］ダイアログの［プリント］パネルでプリンタを選択して［プリントキュー］をクリックし、表示されたダイアログで［ユーティリティ］をクリックします。
  - Mac OS X 10.5 をお使いのときは、［システム環境設定］－［プリントとファクス］ダイアログのプリンタ一覧から目的のプリンタを選択して［プリントキューを開く］をクリックし、表示されたダイアログで［ユーティリティ］をクリックします。

［ファイル］メニュー

プリントモニタの［ファイル］メニューには、次の機能があります。

［開く］	［プリントモニタ］ウィンドウを開きます。
［閉じる］	［プリントモニタ］ウィンドウを閉じます。
［プリントキュー停止］（Mac OS 9 のみ）	印刷を一時停止します。
［プリントキュー再開］（Mac OS 9 のみ）	印刷を再開します。
［ファイルをプリント］（Mac OS 9 のみ）	PICT ファイルとして保存した原稿を印刷します。
［環境設定］	［環境設定］ダイアログが表示されます。［環境設定］ダイアログで、ポーリング間隔（プリンタの情報を取得する間隔）の設定を行います。

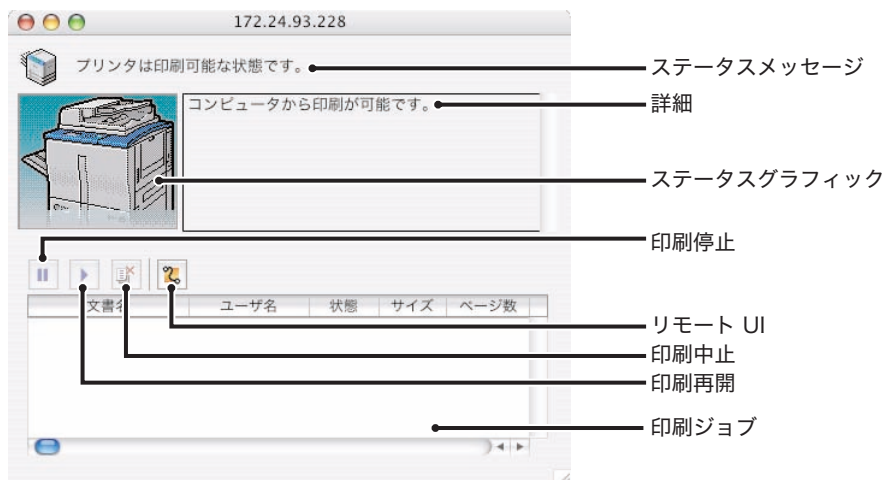
［プリンタ］メニュー

プリントモニタの［プリンタ］メニューには、次の機能があります。

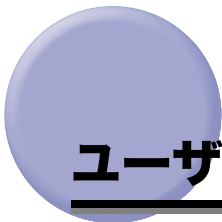
［プリンタ名］	印刷状況をモニタできる出力先（プリンタ）が表示されます。複数の出力先がある場合は、モニタしたい出力先を選択します。
［監視プリンタを検索］	［プリンタ］メニューに目的の出力先が表示されていない場合、［監視プリンタを検索］を選択することによって、目的の出力先を検索できます。
［プリンタ情報を取得］	［プリンタ情報］ダイアログが表示されます。
［デフォルトにする］	ウィンドウに表示されている出力先を登録します。

メモ　プリンタ側でカセットの構成などのプリンタ構成を変更した場合、必ず、［プリンタ］メニューから［プリンタ情報を取得］を選択するか、［プリント］ダイアログで［プリンタ情報］をクリックしてください。この操作を行わないときは、正しく印刷されないことがあります。

［プリントモニタ］ウィンドウ

［プリントモニタ］ウィンドウでは、プリンタの状態や印刷中の原稿の状態が表示されます。また、印刷中に問題が発生した場合は、このウィンドウにエラーの状況が表示されます。

［ステータスメッセージ］	オフライン状態や用紙切れなど、プリンタの状態が表示されます。
［詳細］	［ステータスメッセージ］の詳細やエラーが発生したときの処置方法が表示されます。
［ステータスグラフィック］	プリンタの状態がイメージで表示されます。
［印刷ジョブ］シート	印刷する文書名のリストが表示されます。ユーザ名、印刷ジョブの状態、データサイズなども表示されます。
［印刷停止］	ご使用のコンピュータから、プリンタ、あるいはプリントサーバへのデータ送信を停止します。
［印刷再開］	送信停止したものを再開します。
［印刷中止］	選択した原稿の印刷を中止して、削除します。
［リモート UI］	リモート UI を起動します。

メモ

- リモート UI を起動するには、Web ブラウザが設定されている必要があります。設定方法については、本体に付属の「リモート UI ガイド」を参照してください。
- プリンタ側でカセットの構成などのプリンタ構成を変更した場合、必ず、［プリンタ］メニューから［プリンタ情報を取得］を選択するか、［プリント］ダイアログで［プリンタ情報］をクリックしてください。この操作を行わないときは、正しく印刷されないことがあります。

ユーザ定義用紙を設定する

アプリケーションソフトウェア上の原稿のサイズには、用意されている定型用紙以外に、独自に用紙を設定することができます。この用紙を、ユーザ定義用紙と呼びます。

Mac OS 9 用プリンタドライバの場合

1 **アプリケーションソフトウェアの［ファイル］メニューから［用紙設定］を選択します。**

［用紙設定］ダイアログが表示されます。

2 **［用紙設定］ダイアログで、［カスタム用紙サイズ］パネルを選択します。**

［カスタム用紙サイズ］パネルが表示されます。

3 **［ユーザ定義用紙名］、［単位］、［用紙サイズ］を設定します。**

設定内容は、以下のとおりです。

［ユーザ定義用紙名］	用紙の名前を入力します。
［単位］	［ミリメートル］あるいは［インチ］を選択します。ここで選択した単位は、［用紙サイズ］の単位となります。
［用紙サイズ］	用紙の縦と横の長さを設定します。なお、印刷できる用紙サイズは、お使いのプリンタによって異なります。詳しくは、「印刷できる用紙サイズ」（→ P.3-8）を参照してください。

4 **［追加］をクリックします。**

設定した用紙が登録されます。

5 **さらに別のユーザ定義用紙を設定する場合は、手順 3 ～ 4 を繰り返します。**

メモ

- ユーザ定義用紙は最大 5 種類まで設定することができます。
- ユーザ定義用紙を設定したあとは、その設定内容を変更できません。
- すでに登録されている用紙と同じ名前では、登録できません。
- [ユーザ定義用紙名] には、全角で最大 8 文字、半角で最大 16 文字入力できます。ただし、「^」を入力することはできません。また、名前の先頭に半角の「-」「;」「!」「<」「/」「()」を使用することはできません。
- 一度登録した用紙を削除するときは、[サイズ一覧] で削除する用紙を選択したあと、[削除] をクリックしてください。

Mac OS X 用プリンタドライバの場合

Mac OS X 10.2.8 ～ 10.3.9 の場合

1 アプリケーションソフトウェアの [ファイル] メニューから [ページ設定] (または [用紙設定]) を選択します。

[ページ設定] (または [用紙設定]) ダイアログが表示されます。

2 [ページ設定] (または [用紙設定]) ダイアログで、[カスタム用紙サイズ] パネルを選択します。

[カスタム用紙サイズ] パネルが表示されます。

3 [新規] をクリックして、[用紙サイズ]、[プリンタの余白] を設定します。

設定内容は、以下のとおりです。

[用紙サイズ]	用紙の縦と横の長さを設定します。なお、印刷できる用紙サイズは、お使いのプリンタによって異なります。詳しくは、「印刷できる用紙サイズ」(→ P.3-8) を参照してください。
[プリンタの余白]	余白の長さを設定します。

4 設定したユーザ定義用紙の名称を入力したあと、[保存] をクリックします。

設定した用紙が登録されます。

5 **さらに別のユーザ定義用紙を設定する場合は、手順３～４を繰り返します。**

メモ　一度登録した用紙を削除するときは、削除する用紙を選択したあと、［削除］をクリックしてください。

6 **［カスタム用紙サイズ］パネルの［OK］をクリックします。**

Mac OS X 10.4 以降の場合

1 **アプリケーションソフトウェアの［ファイル］メニューから［ページ設定］（または［用紙設定］）を選択します。**

［ページ設定］（または［用紙設定］）ダイアログが表示されます。

2 **［ページ設定］（または［用紙設定］）ダイアログの［用紙サイズ］から、［カスタムサイズを管理］を選択します。**

［カスタム・ページ・サイズ］ダイアログが表示されます。

3 **［+］をクリックして、［ページサイズ］、［プリンタの余白］を設定します。**

設定内容は、以下のとおりです。

［ページサイズ］	用紙の縦と横の長さを設定します。なお、印刷できる用紙サイズは、お使いのプリンタによって異なります。詳しくは、「印刷できる用紙サイズ」（→ P.3-8）を参照してください。
［プリンタの余白］	余白の長さを設定します。 ［ユーザ定義］ポップアップリストから、プリンタリストに登録したプリンタ名の一覧を表示して、選択したプリンタ名に適した余白を選択することもできます。

4 **設定したユーザ定義用紙の名称を入力します。**

設定した用紙が登録されます。

5 **さらに別のユーザ定義用紙を設定する場合は、手順３～４を繰り返します。**

一度登録した用紙を削除するときは、削除する用紙を選択したあと、[-] をクリックしてください。

6 **［カスタム・ページ・サイズ］ダイアログの［OK］をクリックします。**

バックグラウンドプリントを行う（Mac OS 9用プリンタドライバのみ）

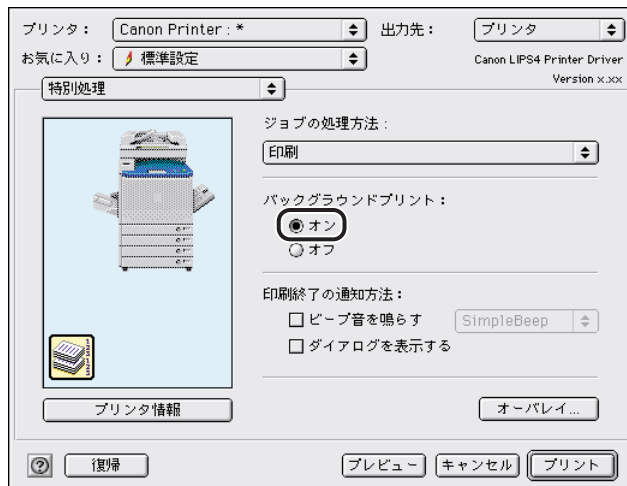
通常は、プリンタで印刷中にコンピュータ側で他の作業を行うことはできません。しかし、バックグラウンドプリント機能を使うと、ワードプロセッサソフトウェアで文章を作成しながら印刷するというように、何か作業を進めながら同時に印刷を行うことができます。作業している背後で印刷するという意味から、この機能はバックグラウンドプリントと呼ばれます。バックグラウンドプリントを行っている最中は、プリントモニタというアプリケーションソフトウェアで印刷状態を確認することができます。

1 **アプリケーションソフトウェアの［ファイル］メニューから［プリント］を選択します。**

［プリント］ダイアログが表示されます。

2 **［プリント］ダイアログで、［特別処理］パネルを選択します。**

［特別処理］パネルが表示されます。

3 **［バックグラウンドプリント］で、［オン］を選択します。**

4 **［プリント］をクリックします。**

印刷時にメッセージを表示する（Mac OS X用プリンタドライバのみ）

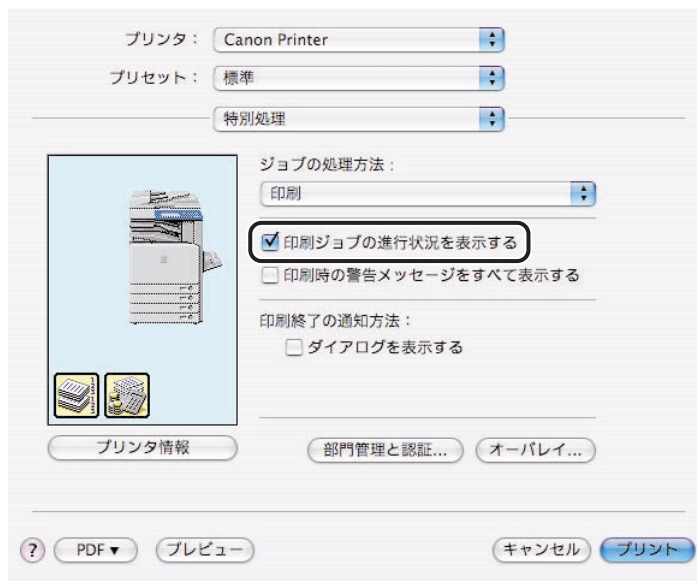
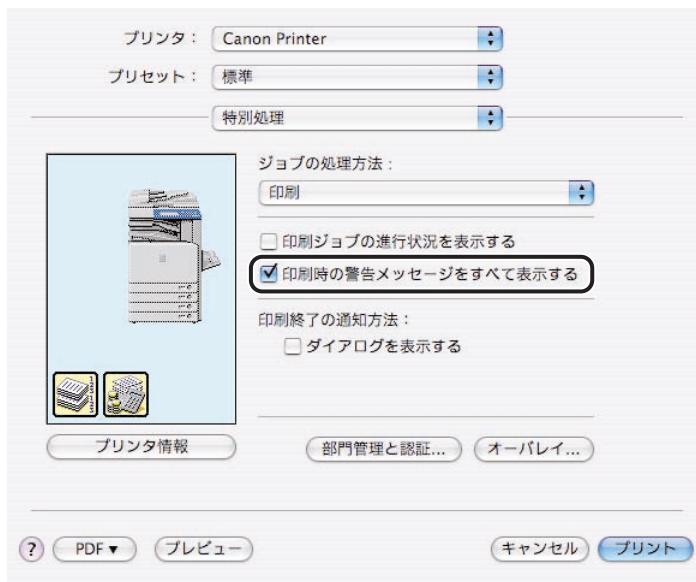
印刷時に、印刷の進行状況や問題が発生した場合の警告メッセージを表示することができます。

1 **アプリケーションソフトウェアの［ファイル］メニューから［プリント］を選択します。**

［プリント］ダイアログが表示されます。

2 **［プリント］ダイアログで、［特別処理］パネルを選択します。**

［特別処理］パネルが表示されます。

3 **印刷の進行状況を表示する場合は、［印刷ジョブの進行状況を表示する］にチェックマークを付けます。**

4 印刷時に問題が発生した場合の警告メッセージを表示する場合は、[印刷時の警告メッセージをすべて表示する] にチェックマークを付けます。

5 [プリント] をクリックして印刷を実行します。

手順 3 を行った場合は、印刷の進行状況が表示されます。

手順 4 を行った場合は、印刷時に問題が発生したときに警告メッセージが表示されます。

4

便利な印刷機能

印刷終了時にメッセージを表示する

印刷終了時にメッセージを表示して、印刷の終了をお知らせすることができます。

メモ　Mac OS X 用のプリンタドライバの画面を使用しています。

1 **アプリケーションソフトウェアの［ファイル］メニューから［プリント］を選択します。**

［プリント］ダイアログが表示されます。

2 **［プリント］ダイアログで、［特別処理］パネルを選択します。**

［特別処理］パネルが表示されます。

3 **［印刷終了の通知方法］の［ダイアログを表示する］にチェックマークを付けます。**

メモ　Mac OS 9 をお使いの場合は、［ビープ音を鳴らす］にチェックマークを付けると、印刷終了時に音で終了をお知らせすることもできます。

4 ［プリント］をクリックして印刷を実行したあと、以下の通知が表示されたら、［OK］をクリックします。

5
CHAPTER

印刷品質の設定

印刷品質の設定手順について説明しています。

カラー印刷する

次の手順で、原稿をカラー印刷します。

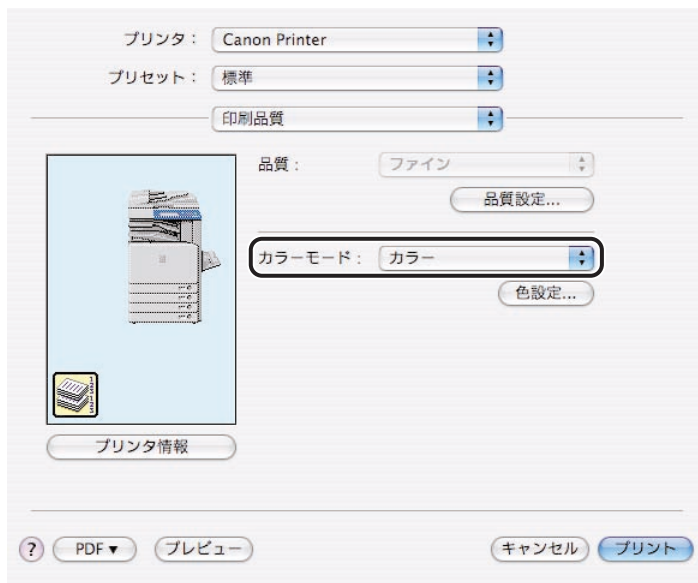
メモ
- カラープリンタをお使いの場合、機種や搭載しているメモリによって、印刷可能な用紙サイズが異なります。詳しくは、「カラー印刷に必要なメモリ（カラープリンタのみ）」（→P.5-4）を参照してください。
- Mac OS X 用のプリンタドライバの画面を使用しています。

1 **アプリケーションソフトウェアの［ファイル］メニューから［プリント］を選択します。**

［プリント］ダイアログが表示されます。

2 **［プリント］ダイアログで、［印刷品質］パネルを選択します。**

［印刷品質］パネルが表示されます。

3 **［カラーモード］で、［カラー］を選択します。**

メモ　グレースケールで印刷する場合は、［モノクロ］を選択します。

4 ［プリント］をクリックします。

カラー印刷に必要なメモリ（カラープリンタのみ）

カラー印刷するときは、プリンタに多くのメモリが必要です。カラー設定と出力する用紙のサイズによって、必要な拡張メモリの容量は異なります。次の表は、増設が必要な拡張メモリの目安です。ハードディスク対応機種は、RIP Once の設定によって、次の表と異なる場合があります。

（表中の記号　xxMB：必要な増設メモリ、X：印刷不可能、対象外：非サポートの用紙サイズ）

メモ　下記のメモリがプリンタにセットされていても、プリンタのシステムワークメモリ設定などを手動で変更した場合、メモリが不足することがあります。そのときは、プリンタの操作パネルで［印字保証メモリ］を設定してください。詳細は、プリンタに付属の取扱説明書を参照してください。

5

印刷品質の設定

■ LBP5900/5800/5700/5500/2810/2710/2510 の場合

用紙サイズ	片面印刷時			両面印刷時		
	標準	高階調 1	高階調 2	標準	高階調 1	高階調 2
はがき	0(64)MB	0(64)MB	0(64)MB	対象外	対象外	対象外
封筒（洋形 4 号）	0(64)MB	0(64)MB	0(64)MB	対象外	対象外	対象外
A5	0(64)MB	0(64)MB	0(64)MB	対象外	対象外	対象外
B5	0(64)MB	0(64)MB	0(64)MB	0(64)MB	0(64)MB	0(64)MB
エグゼクティブ	0(64)MB	0(64)MB	0(64)MB	0(64)MB	0(64)MB	0(64)MB
レター	0(64)MB	0(64)MB	0(64)MB	0(64)MB	0(64)MB	0(64)MB
A4	0(64)MB	0(64)MB	0(64)MB	0(64)MB	0(64)MB	0(64)MB
リーガル	0(64)MB	0(64)MB	0(64)MB	0(64)MB	0(64)MB	0(64)MB
封筒（角形 2 号）	0(64)MB	0(64)MB	0(64)MB	対象外	対象外	対象外
B4	0(64)MB	0(64)MB	0(64)MB	0(64)MB	0(64)MB	0(64)MB
レジャー	0(64)MB	0(64)MB	0(64)MB	0(64)MB	64(128)MB	64(128)MB
A3	0(64)MB	0(64)MB	0(64)MB	0(64)MB	64(128)MB	64(128)MB

メモ
- (　) 内の値はハードディスク装着時（LBP-2810 のみ）です。
- LBP5500/2510 では、B4/ レジャー /A3 用紙は非サポートです。
- LBP5900 では、[高階調 2] の両面印刷を A3 で行うために、128MB の増設メモリが必要です。

■ LBP-2360/2300、CP680 LIPS-C1 の場合

用紙サイズ	片面印刷時			両面印刷時		
	標準	高階調 1	高階調 2	標準	高階調 1	高階調 2
はがき	0(32)MB	0(32)MB	0(32)MB	対象外	対象外	対象外
封筒（洋形４号）	0(32)MB	0(32)MB	0(32)MB	対象外	対象外	対象外
A5	0(32)MB	0(32)MB	0(32)MB	0(32)MB	0(32)MB	0(32)MB
B5	0(32)MB	0(32)MB	0(32)MB	0(32)MB	0(32)MB	0(32)MB
エグゼクティブ	0(32)MB	0(32)MB	0(32)MB	0(32)MB	0(32)MB	0(32)MB
レター	0(32)MB	0(32)MB	0(32)MB	0(32)MB	0(32)MB	0(32)MB
A4	0(32)MB	0(32)MB	0(32)MB	0(32)MB	0(32)MB	0(32)MB
リーガル	0(32)MB	0(32)MB	0(32)MB	0(32)MB	0(32)MB	0(32)MB
封筒（角形２号）	0(32)MB	0(32)MB	0(32)MB	対象外	対象外	対象外
B4	0(32)MB	0(32)MB	0(32)MB	0(32)MB	0(32)MB	0(32)MB
レジャー	0(32)MB	0(32)MB	0(32)MB	0(32)MB	32(64)MB	32(64)MB
A3	0(32)MB	0(32)MB	0(32)MB	0(32)MB	32(64)MB	32(64)MB

メモ　(　) 内の値はハードディスク装着時（LBP-2360、CP680 LIPS-C1 のみ）です。

■ CP680 LIPS-B1 の場合

用紙サイズ	片面印刷時			両面印刷時		
	標準	高階調 1	高階調 2	標準	高階調 1	高階調 2
はがき	0(16)MB	0(16)MB	0(16)MB	対象外	対象外	対象外
封筒（洋形４号）	0(16)MB	0(16)MB	0(16)MB	対象外	対象外	対象外
A5	0(16)MB	0(16)MB	0(16)MB	0(16)MB	0(16)MB	0(16)MB
B5	0(16)MB	0(16)MB	0(16)MB	0(16)MB	0(16)MB	0(16)MB
エグゼクティブ	0(16)MB	0(16)MB	0(16)MB	0(16)MB	0(16)MB	0(16)MB
レター	0(16)MB	0(16)MB	0(16)MB	0(16)MB	16(32)MB	16(32)MB
A4	0(16)MB	0(16)MB	0(16)MB	0(16)MB	16(32)MB	16(32)MB
リーガル	0(16)MB	0(16)MB	0(16)MB	0(16)MB	16(32)MB	16(32)MB
封筒（角形２号）	0(16)MB	0(16)MB	0(16)MB	対象外	対象外	対象外
B4	0(16)MB	0(16)MB	0(16)MB	0(16)MB	16(32)MB	16(32)MB
レジャー	0(16)MB	16(32)MB	16(32)MB	16(32)MB	32(48)MB	32(48)MB
A3	0(16)MB	16(32)MB	16(32)MB	16(32)MB	32(48)MB	32(48)MB

メモ　（ ）内の値はハードディスク装着時です。

■ LBP-2050 の場合

基本的に、標準メモリですべての用紙サイズに印刷可能です。

■ カラー iR シリーズ、iPR シリーズの場合

基本的に、標準メモリですべての用紙サイズに印刷可能です。

カラー／モノクロ中間調を設定する

カラーの原稿を印刷するときの、中間調の表現方法を設定できます。また、カラー原稿をモノクロプリンタで、またはカラープリンタのモノクロモードで印刷するときのモノクロによる中間調の表現も設定します。

メモ　Mac OS X 用のプリンタドライバの画面を使用しています。

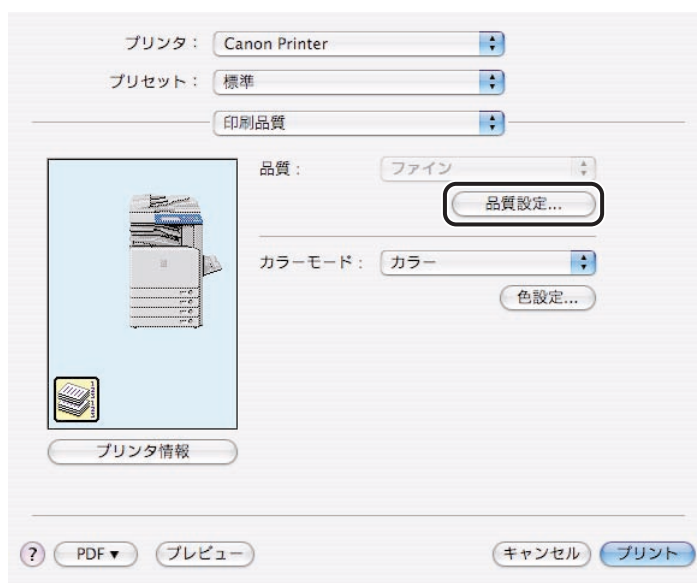
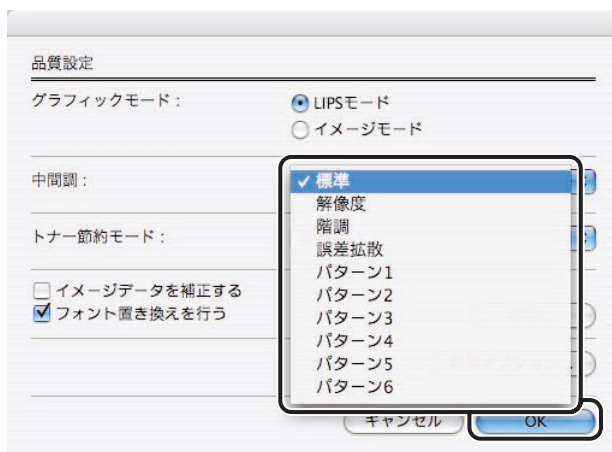
1 **アプリケーションソフトウェアの［ファイル］メニューから［プリント］を選択します。**

［プリント］ダイアログが表示されます。

2 **［プリント］ダイアログで［印刷品質］を選択して、［印刷品質］パネルを表示します。**

3 **［品質設定］をクリックします。**

［品質設定］ダイアログが表示されます。

5
印刷品質の設定

4 ［中間調］、［カラー中間調］、または［モノクロ中間調］で原稿に適した中間調を選択したあと、［OK］をクリックします。

［中間調］、［カラー中間調］、［モノクロ中間調］のいずれかが設定できます。設定できる項目は、お使いの機種によって異なります。
また、［印刷品質］－［品質設定］－［グラフィックモード］の設定により、選択できる項目が異なります。

● カラー印刷の場合

iPR シリーズおよびカラー iR シリーズの場合：
［中間調］を設定します。

［解像度］	写真イメージなどを多用しているデータを美しく印刷します。
［誤差拡散］	階調表現に優れたディザパターンを使って印刷します。CAD などで細い線を多用している原稿の印刷に適しています。
［階調］	グラフィックやCGでグラデーションを多用しているデータなどを美しく印刷します。
［パターン 1 ～ 7］	テキスト、グラフィックス、イメージのデータに対してそれぞれ別のディザパターンを使用します。組み合わせは以下のとおりです。 パターン1： テキスト = 誤差拡散、グラフィックス = 誤差拡散、イメージ = 解像度 パターン2： テキスト = 誤差拡散、グラフィックス = 誤差拡散、イメージ = 階調 パターン3： テキスト = 誤差拡散、グラフィックス = 解像度、イメージ = 解像度 パターン4： テキスト = 誤差拡散、グラフィックス = 階調、イメージ = 階調 パターン5： テキスト = 解像度、グラフィックス = 解像度、イメージ = 階調 パターン6： テキスト = 解像度、グラフィックス = 階調、イメージ = 階調 パターン7： テキスト = 誤差拡散、グラフィックス = 解像度、イメージ = 階調

カラー LBP シリーズの場合：
LBP5910/5910M では［中間調］、それ以外の機種では［カラー中間調］を設定します。

［解像度］	解像度を優先して中間調を表現します。一般的な文字や写真イメージなど、ほとんどの原稿に適しています。
［高解像度］	高解像度を優先して中間調を表現します。小さい文字や細い線を使用している原稿に適しています。
［階調］	階調を優先して中間調を表現します。グラフィックでグラデーションを使用している原稿に適しています。
［色調］	色調を優先して中間調を表現します。写真、イメージなどの原稿を複数枚印刷する場合、色みの違いが目立たなくなります。
［誤差拡散］	階調表現に優れたディザパターンを使って印刷します。CAD などで細い線を多用している原稿の印刷に適しています。
［パターン 1 ～ 9］	テキスト、グラフィックス、イメージのデータに対してそれぞれ別のディザパターンを使用します。組み合わせは以下のとおりです。 パターン1：テキスト = 解像度、グラフィックス = 階調、イメージ = 階調 パターン2：テキスト = 解像度、グラフィックス = 解像度、イメージ = 階調 パターン3：テキスト = 解像度、グラフィックス = 色調、イメージ = 色調 パターン4：テキスト = 解像度、グラフィックス = 解像度、イメージ = 色調 パターン5：テキスト = 高解像度、グラフィックス = 階調、イメージ = 階調 パターン6：テキスト = 高解像度、グラフィックス = 高解像度、イメージ = 階調 パターン7：テキスト = 高解像度、グラフィックス = 高解像度、イメージ = 色調 パターン8：テキスト = 解像度、グラフィックス = 色調、イメージ = 階調 パターン9：テキスト = 高解像度、グラフィックス = 解像度、イメージ = 階調

● モノクロ印刷の場合

iPR シリーズおよびカラー iR シリーズの場合：
［中間調］を設定します。設定項目は、カラー印刷の場合と同じです。

LBP5910/5910M/5900/5400 の場合：
［モノクロ中間調］を設定します。

［解像度］	解像度を優先して中間調を表現します。一般的な文字や写真イメージなど、ほとんどの原稿に適しています。
［高解像度］	高解像度を優先して中間調を表現します。小さい文字や細い線を使用している原稿に適しています。
［階調］	階調を優先して中間調を表現します。グラフィックでグラデーションを使用している原稿に適しています。
［色調］	色調を優先して中間調を表現します。写真、イメージなどの原稿を複数枚印刷する場合、色みの違いが目立たなくなります。
［パターン 1 〜 3］	テキスト、グラフィックス、イメージのデータに対してそれぞれ別のディザパターンを使用します。組み合わせは以下のとおりです。 パターン 1：テキスト = 解像度、グラフィックス = 階調、イメージ = 色調 パターン 2：テキスト = 解像度、グラフィックス = 色調、イメージ = 色調 パターン 3：テキスト = 高解像度、グラフィックス = 解像度、イメージ = 階調
［なし（黒ベタ）］	中間調の色を使用せずに、白以外のデータをすべて黒で印刷します。
［誤差拡散］	CAD などの細い線を多用している原稿の印刷に適しています。

iR8570N/7270N/7105i/7095i/7086N/6570/5570/4570/3570/2870/2270/105i、LBP3970/3950/3920/3900/3800/3700/3410 の場合：
［中間調］を設定します。

［パターン 1］	文字、図形・表・グラフ、写真画像のそれぞれに対して、最適なハーフトーン処理で印刷します。文字、図形やグラフ、写真画像の混在する原稿を美しく印刷するのに適しています。
［パターン 2］	グレーの文字や色の付いた文字はシャープに、写真画像や図形にはコントラストを効かせた画質で印刷します。比較的安定した、むらの少ない印字結果が得られます。
［パターン 3］	文字、図形・表・グラフ、写真画像のそれぞれについて、ハーフトーンの濃さを合わせて印刷します。
［パターン 4］	文字や細い線を多用している原稿に対して、最適なハーフトーン処理で印刷します。色の付いた文字や CAD などの原稿をシャープに印刷するのに適しています。
［パターン 5］	文字、図形・表・グラフ、写真画像のそれぞれについて、コントラストを効かせた画質で印刷します。
［なし（黒ベタ）］	中間調の色を使用せずに、白以外のデータをすべて黒で印刷します。

上記以外のプリンタの場合：
［中間調］または［モノクロ中間調］を設定します。

［パターン 1］	文字、図形・表・グラフ、写真画像について、最適なハーフトーン処理で印刷します。
［パターン 2］	［パターン 1］よりも比較的安定した、むらの少ない印字結果が得られます。
［誤差拡散］	CAD などの細い線を多用している原稿の印刷に適しています。
［なし（黒ベタ）］	中間調の色を使用せずに、白以外のデータをすべて黒で印刷します。

［処理オプション］をクリックして、以下の項目を設定することもできます。

- ［特殊中間調を使う］：
  この項目にチェックマークを付けると、単色塗りのデータを多く含む文字、写真イメージ、グラフィックスなどを美しく印刷できるディザパターンが使用されます。色抜けが発生したり、用紙を縦と横で印刷した結果が異なる場合などに本機能をご使用ください。（［印刷品質］－［品質設定］－［グラフィックモード］－［イメージモード］を選択している場合は、本項目は使用できません。）
- ［グレー補償］：
  黒や灰色の原稿部分に対してブラック以外を使用せずに、印刷します。黒い罫線を多く使うグラフィックなどで、はっきりしたきれいな印刷結果が得られます。モノクロ印刷の場合は選択できません。

5 ［プリント］をクリックします。

印刷品質を設定する

写真を含む原稿などは、階調や品質を設定することによって、よりきれいに印刷できます。

メモ　Mac OS X 用のプリンタドライバの画面を使用しています。

1 **アプリケーションソフトウェアの［ファイル］メニューから［プリント］を選択します。**

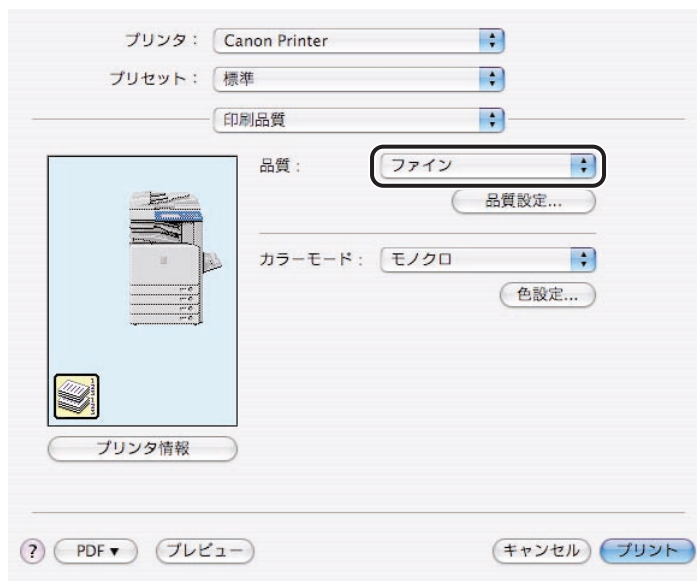
［プリント］ダイアログが表示されます。

2 **［プリント］ダイアログで、［印刷品質］パネルを選択します。**

［印刷品質］パネルが表示されます。

3 **［印刷品質］パネルで、印刷品質（解像度）の設定を行います。**

5

印刷品質の設定

[品質]：
印刷解像度に関する設定を行います。

[スーパーファイン]	1200dpi で高品質な印刷ができます。写真やグラデーションを含む原稿の印刷に適しています。
[ファイン]	600dpi で高品質な印刷ができます。
[クイック]	300dpi で高品質な印刷ができます。

4 さらに詳細な設定を行うには、[品質設定] をクリックして、[品質設定] ダイアログを表示します。設定したあと、[OK] をクリックします。

[品質設定] ダイアログで、以下の印刷品質に関する項目を設定できます。お使いの機種によって、設定できる項目は異なります。

[階調]：
階調を選択します。

[高階調 2]	写真などを含む原稿をきれいに印刷する場合に選択します。高階調 1 より、品質の高い出力結果が得られます。
[高階調／高階調 1]	写真などを含む原稿をきれいに印刷する場合に選択します。
[標準]	テキストを主に使用している原稿を印刷する場合に選択します。標準的な品質の印刷を行います。

メモ　その他品質設定の詳細は、オンラインヘルプを参照してください。

5 [プリント] をクリックします。

カラー／モノクロの詳細設定を行う

［印刷品質］パネルの［色設定］をクリックすると、［色設定］ダイアログが表示され、［色調整］シートや［マッチング］シートで、カラー／モノクロの詳細な設定や補正を行うことができます。

メモ　Mac OS X 用のプリンタドライバの画面を使用しています。

カラー／モノクロの詳細な設定を行う

1 **アプリケーションソフトウェアの［ファイル］メニューから［プリント］を選択します。**

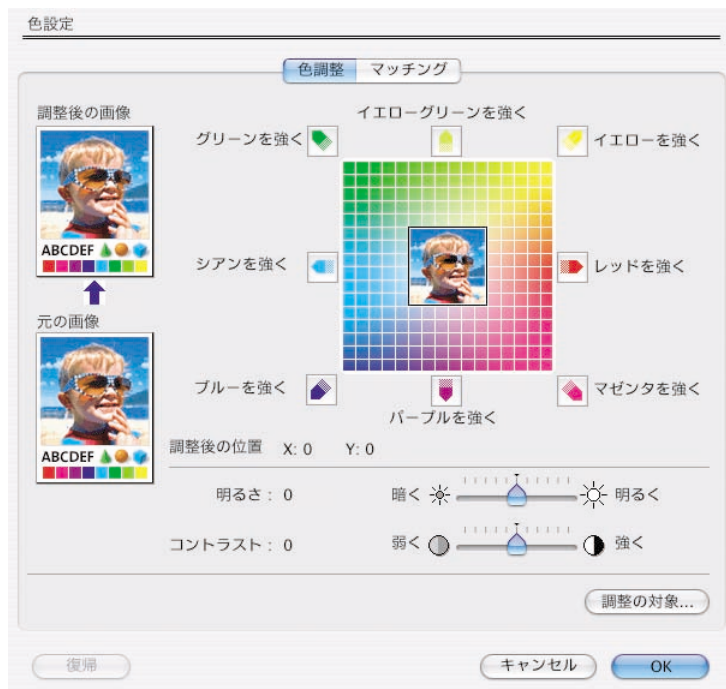
［プリント］ダイアログが表示されます。

2 **［プリント］ダイアログで、［印刷品質］パネルを選択します。**

［印刷品質］パネルが表示されます。

3 **［色設定］をクリックします。**

［色設定］ダイアログが表示されます。

4 ［色設定］ダイアログで、カラー／モノクロの調整を行います。

メモ　［色設定］ダイアログの設定については、「［色調整］と［マッチング］シートについて」（→ P.5-17）を参照してください。

5 ［色設定］ダイアログの［OK］をクリックします。

6 ［プリント］ダイアログの［OK］をクリックします。

[色調整] と [マッチング] シートについて

色の調整方法は、大きく次のように分けられます。

メモ　明るさ、コントラスト、色み、鮮やかさは、マッチングとガンマ補正を行ったあと、さらに微調整をするときにお使いください。

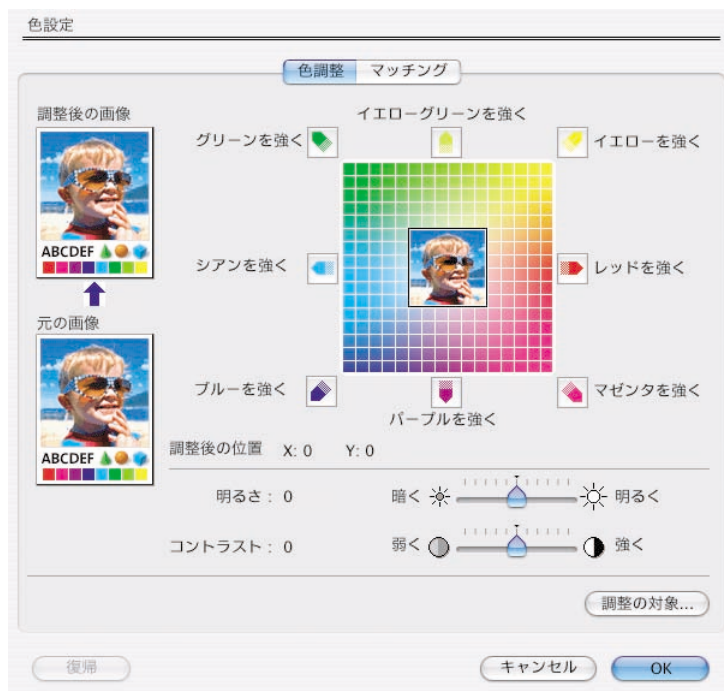
■ [色調整] シートの設定項目

明るさ、コントラスト、色み、鮮やかさは、「さらに細かい色の調整」のための設定です。

■ [マッチング] シートの設定項目

マッチング、ガンマ補正は、「画面表示と印刷の仕上がりの色を一致させる」ための設定です。

[色調整] シートでの設定

[色調整] シートについて説明しています。

■ 明度とコントラストの調整

[明るさ] ／ [コントラスト] のスライダバーで色の明るさとコントラスト（明暗差）を設定できます（中央の画像は現在の設定での印刷プレビューです）。

メモ　コントラストを強くすると、暗い部分と明るい部分の差が大きくなり、シャープな画像になります。逆に、コントラストを弱くすると暗い部分と明るい部分の差が小さくなります。

■ 色みの調整（カラープリンタのみ）

ダイアログのまわりに表示されている 8 つのアイコンをクリックすると、色みを設定できます（中央の画像は現在の設定での印刷プレビューです）。
例えば、空の写真の原稿を、ブルーを強調して印刷したいときは、［ブルーを強く］のアイコンを青色方向に設定します。

［マッチング］シートでの設定

［マッチング］シートについて説明しています。

■ [マッチング方法]

色みに関してのマッチング方法を設定できます。

■ [モニタ・スキャナの設定]

モニタやスキャナのマッチング用プロファイルを選択します。

■ [マッチングモード]

マッチングの方法を選択します。

[ドライバ補正モード]	ドライバ（コンピュータ）側で色の処理を行います。
[プリンタ補正モード]	プリンタ側で色の処理を行います。ドライバ側と同じデフォルトで用意されているプロファイルに加えて、プリンタにダウンロードしたプロファイルも使用できます。
[ガンマ補正（ホスト側／プリンタ側)]	ガンマ補正を設定する場合は、本項目を選択して、[ガンマ補正］でガンマ補正値を設定してください。

メモ
- お使いの機種によって、選択できる項目は異なります。
- [プリンタ補正モード］または［ガンマ補正（プリンタ側)］を選択すると、プリンタ側で補正処理ができます。コンピュータの性能が高い場合は、[ドライバ補正モード］を選択することをおすすめします。

■ [ガンマ補正]

ガンマ補正値の設定を行います。[マッチングモード］で［ガンマ補正（ホスト側／プリンタ側)］を選択したときに設定できます。

メモ
- [印刷品質］パネルの［品質設定］をクリックすると、[品質設定］ダイアログが表示されます。
  [品質設定］ダイアログで［イメージモード］を設定している場合、OS X では［ドライバ補正モード］／［プリンタ補正モード]、OS 9 では［プリンタ補正モード］／［ガンマ補正（プリンタ側）］を選択しているときは、イメージ／グラフィックス／テキストの設定は行えません。
- ガンマ補正を設定すると、原稿中の最も明るい部分や最も暗い部分を損なわないように、印刷結果の明るさを調節できます。出力した結果が元の画像に比べて明るいときや、明るさを変えて出力したいときなどにお使いください。設定数値が大きいほど暗く印刷されます。［ガンマ補正］を［1.0］に設定した場合、印刷結果は画面表示よりも明るくなります。これは、多くのモニタの本来のガンマ値が、1.4 〜 1.8 程度であるためです。

6
CHAPTER

困ったときには

LIPS プリンタドライバの使用中に生じたトラブルへの対処方法について説明しています。

Mac OS 9 用プリンタドライバの場合

Mac OS 9 をお使いの場合で、プリンタドライバを使用したときのトラブルへの対処方法について説明しています。

セレクタの出力先にプリンタ名が表示されない

原因 1 プリンタと Macintosh が正しく接続されていない。

処　置 プリンタと Macintosh を正しく接続してください。

原因 2 プリンタの電源がオンになっていない。

処　置 プリンタの電源をオンにしてください。

原因 3 プリンタドライバが正しくインストールされていない。

処　置 プリンタドライバを再度インストールしてください。

原因 4 セレクタの［AppleTalk］が［不使用］になっている。

処　置 セレクタの［AppleTalk］を［使用］にしてください。

原因 5 セレクタの左側に表示されるプリンタアイコンを選択していない。

処　置 LIPS Printer のプリンタアイコンをクリックします。

印刷すると、「メモリが足りません」というメッセージが表示される

原　因 システムのメモリが不足している。

処　置 使用できるメモリを増やしてください。

特定のアプリケーションソフトウェアで正しく印刷ができない

原　因 重ね合わせ機能など、ページプリンタが処理できない論理描画をアプリケーションソフトウェアで使用している。

処　置 ［印刷品質］－［品質設定］－［グラフィックスモード］を［イメージモード］に設定してください。

印刷結果の端が欠けてしまう

原因 1 アプリケーションソフトウェア上の原稿のサイズと、プリンタに出力する用紙のサイズ（出力サイズ）が異なっている。

処　置 ［用紙設定］ダイアログの［ズーム］で縮小方向に倍率を設定してください。

原因 2 アプリケーションソフトウェアの余白の設定が、本プリンタの印刷できる範囲を超えている。

処　置 余白を設定しなおしてください。上下左右とも周囲 5mm（封筒は 10mm）の範囲には印刷できません。

メモ カラー iR シリーズ、iPR シリーズ、LBP シリーズで 12 × 18、13 × 19、SRA3 用紙をお使いの場合、左右の余白は 5mm よりも大きくなる場合があります。

フォントが置き換わらない

原因 1 ［フォント置き換えを行う］の設定がされていない。

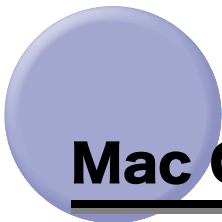
処　置 ［印刷品質］－［品質設定］－［フォント置き換えを行う］にチェックマークを付けたあと、［設定］をクリックして、フォント置き換えを行ってください。

原因 2 フォント置き換えの設定が正しくされていない。

処　置 プリンタのフォントに置き換えて印刷してください。詳しくは、「プリンタのフォントに置き換えて印刷する」（→ P.4-28）を参照してください。

原因 3 イメージモードに設定されている。

処　置 ［印刷品質］－［品質設定］－［グラフィックモード］を［LIPS モード］に設定してください。

メモ
- ペイント系のアプリケーションソフトウェアでは、フォントの置き換えはできません。
- アプリケーションソフトウェアによっては、縦書きにした文字や、回転した文字のフォント置き換えができないことがあります。

Mac OS X 用プリンタドライバの場合

Mac OS X をお使いの場合で、プリンタドライバを使用したときのトラブルへの対処方法について説明します。

印刷してもプリンタのデータランプがつかない

原因 1 プリンタと Macintosh が正しく接続されていない。

処　置 プリンタと Macintosh を正しく接続してください。

原因 2 プリンタの電源がオンになっていない。

処　置 プリンタの電源をオンにしてください。

原因 3 プリンタの［オンライン］が点灯していない。

処　置 ［オンライン］を押して、［オンライン］を点灯させてください。

プリントセンター／プリンタ設定ユーティリティにプリンタ名が表示されない

原因 1 プリンタと Macintosh が正しく接続されていない。

処　置 プリンタと Macintosh を正しく接続してください。

原因 2 プリンタの電源がオンになっていない。

処　置 プリンタの電源をオンにしてください。

原因 3 プリンタドライバが正しくインストールされていない。

処　置 プリンタドライバを再度インストールしてください。

プリンタの種類が「Generic」と表示され、機能の一部が使用できない

原因 1 プリンタと Macintosh が正しく接続されていない。

処　置 プリンタと Macintosh を正しく接続してください。

原因 2 プリンタの電源がオンになっていない。

処　置 プリンタの電源をオンにしてください。

原因 3 プリンタドライバが正しくインストールされていない。

処　置 プリンタドライバを再度インストールしてください。

原因 4　プリントセンター／プリンタ設定ユーティリティでプリンタを追加するときに、種類が［LIPS（v.5.xx)］でないプリンタを選択した。

処　置　プリントセンター／プリンタ設定ユーティリティで、種類が［LIPS（v.5.xx)］と表示されているプリンタを印刷先として選択しなおしてください。(→印刷先を設定する：P.2-2)

いつまでたっても出力されない

原因 1　カラー写真のようにファイルサイズが大きいデータが原稿に貼り付けられており、印刷に時間がかかっている。

処　置　データランプがついているときは、しばらくお待ちください。

原因 2　カラー写真のようにファイルサイズが大きいデータが原稿に貼り付けられており、メモリ不足が原因で印刷に時間がかかっている。

処　置　メモリを増設してください。メモリを増設しない場合は、[印刷品質］パネルの［品質］で、解像度を落としてください。(スーパーファイン→ファイン、ファイン→クイック)

印刷結果の端が欠けてしまう

原因 1　アプリケーションソフトウェア上の原稿のサイズとプリンタに出力する用紙のサイズ（出力サイズ）が異なっている。

処　置　［ページ設定］(または［用紙設定］）ダイアログの［拡大縮小］で、縮小方向に倍率を設定してください。

原因 2　アプリケーションソフトウェアの余白の設定が、本プリンタの印刷できる範囲を超えている。

処　置　余白を設定しなおしてください。

原因 3　CAD 画像などの細線を［ファイン］で印刷すると破線で出力することがある機種（一部の 1200dpi 対応機種）をお使いになっている。

処　置　［印刷品質］パネルの［品質］で、[スーパーファイン］を選択すると、きれいに出力される場合があります。

7
CHAPTER

付録

参考となる情報について説明しています。

Mac OS 9 使用時の注意事項

Mac OS 9 をお使いの場合にマルチユーザコントロールパネルで設定を行うときは、以下の点に注意してください。

■ マルチユーザ ON/OFF の注意事項

- プリンタドライバ設定に関する注意事項
  - ・OFF から ON: OFF 時のプリンタ環境が、「所有者」のプリンタ環境に引き継がれます。
  - ・ON から OFF:「所有者」のプリンタ環境が、OFF 時のプリンタ環境に引き継がれます。
- セレクタで設定されているプリンタに関する注意事項
  - ・OFF から ON：OFF 時に選択されているプリンタが設定されます。
  - ・ON から OFF：どの利用者がログインした場合でも、最後に選択されたプリンタが設定されます。

メモ　OFF から ON に変更したあと、コンピュータを再起動してください。

■［マルチユーザ］パネルでの設定

［マルチユーザ］パネルの［アカウントの種類］を、［制限付き］または［パネル］に選択した場合に以下の設定を行わないと、正しく印刷できないことがあります。

- ［アクセス権］シートの［利用者はプリンタを使用できる］にチェックマークを付けたあと、［使用できるプリンタ］のポップアップメニューから［すべてのプリンタ］を選択してください。
- ［アプリケーション］シートでプリンタモニタの登録を行ってください。

索引

英数字

あ

か

さ

た

な

は

ま